

設置年度 令和 2年度
計画の区分： 学部の設置
注1

認可

注2
修文大学 医療科学部

【認可】 設置に係る設置計画履行状況報告書
(改正前大学設置基準適用)

学校法人修文学院
令和5年5月1日現在

作成担当者	
担当部局(課)名	大学事務局
職名・氏名	ジムキョクジチョウ エサキヒロシ 事務局次長 江崎宏史
電話番号	0586-45-2101 (内線: 5102)
(夜間)	0586-45-2101 (内線: 5102)
e-mail	iryokagaku@shubun.ac.jp

- (注) 1 「計画の区分」は設置時の基本計画書「計画の区分」と同様に記載してください。
2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院・・・」と記入してください。
設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には現在の名称を記載し、その下欄に
()書きにて、設置時の旧名称を記載してください。

例) 〇〇大学 △△学部 □□学科
(旧名称: ◇◇学科(平成◇◇年度より学科名称変更))

表題は「計画の区分」に従い、記入してください。

例)

- 大学の設置の場合: 「〇〇大学」
- 学部の設置の場合: 「〇〇大学 △△学部」
- 学部の学科の設置の場合: 「〇〇大学 △△学部 □□学科」
- 短期大学の学科の設置の場合: 「〇〇短期大学 △△学科」
- 大学院設置の場合: 「〇〇大学大学院」
- 大学院の研究科の設置の場合: 「〇〇大学大学院 〇〇研究科」
- 大学院の研究科の専攻の設置等の場合: 「〇〇大学大学院 〇〇研究科 〇〇専攻(修士課程)」
- 通信教育課程の開設の場合: 「〇〇大学 △△学部 □□学科(通信教育課程)」

- 3 学校コードについては、以下URLを確認の上、該当番号を記載してください。

なお、該当がない場合は、本番号は学校基本調査での「学校コード」と同様の番号ですので、当該番号を記載してください。

https://www.mext.go.jp/b_menu/toukei/mext_01087.html

目次

医療科学部

＜臨床検査学科＞	ページ
1. 調査対象大学等の概要等	1
2. 授業科目の概要	5
3. 施設・設備の整備状況、経費	18
4. 既設大学等の状況	19
5. 教員組織の状況	20
6. 附帯事項等に対する履行状況等	29
7. その他全般的事項	31

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設置者

学校法人修文学院

(2) 大学名

修文大学

(3) 調査対象大学等の位置

〒491-0938

愛知県一宮市日光町6番地

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を()書きで記入してください。
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織

職名	設置時	変更状況	備考
理事長	(ヨシダ マサト) 吉田 真人 (平成28年4月)		
学長	(ニワ トシミツ) 丹羽 利充 (平成28年4月)		
学部長	(イソベ ケンイチ) 磯部 健一 (令和2年4月)		
学科長等			

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を()書きで記入してください。
(例) 令和4年度に報告済の内容 → (4)
令和5年度に報告する内容 → (5)
・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部等の学科または研究科の専攻等、定員を定めている組織ごとに記入してください（入試区分ごとではありません）。
- ・ なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている最小単位（大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」）のほか、それらのコースや専攻単位でも記載したものを、別ファイルにて提出してください。
- ・ 様式は、平成30年度開設の4年制の学科が完成年度を越えて報告する場合（令和5年度までの6年間）ですが、設置計画履行状況等調査の対象期間が7年を越え、様式に変更が必要な場合には、別途ご連絡ください。
- ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「留学」の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
- ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。

(5) - ① 調査対象学部等の名称等

調査対象学部等の名称(学位)	学位又は学科の分野	設置時の計画				学生募集の停止について	備考
		修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員		
医療科学部 臨床検査学科 学士 (臨床検査学)	保健衛生学関係(看護学関係及びびりてーション関係を除く。)	4年	80人	2年次 0人 3年次 0人 4年次 0人	320人	-	

- (注) ・ 定員を変更した場合は、「備考」に変更前の人数、変更年月及び報告年度を()書きで記入してください。
- ・ 基礎となる学部等がある場合には、「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。
- ・ 「学位又は学科の分野」には、「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要(別記様式第2号(その2の1))」の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。
- ・ 学生募集停止を予定している場合は、「学生募集の停止について」で「新規入学者を募集停止予定」を選択するとともに、「備考」に「令和〇年度から学生募集停止(予定)」と記載してください。(学生募集停止を予定していない場合は「-」を選択。)

(5) - ② 調査対象学部等の入学者の状況

区分	対象年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		平均入学定員超過率	平均入学定員超過率(控除後)	収容定員充足率	収容定員充足率(控除後)	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期					
A	入学定員	一人	一人	一人	一人	80人	一人	80人	一人	80人	一人	80人	一人	一人	0.89倍	-	0.85倍	-	
	志願者数	(-)	(-)	(-)	(-)	278	(-)	362	(-)	304	(-)	278	(-)						
	受験者数	(-)	(-)	(-)	(-)	263	(-)	347	(-)	292	(-)	271	(-)						
	合格者数	(-)	(-)	(-)	(-)	212	(-)	330	(-)	273	(-)	226	(-)						
B	入学者数	(-)	(-)	(-)	(-)	63	(-)	74	(-)	78	(-)	74	(-)						
	入学定員超過率 B/A	-	-	-	-	0.78	-	0.92	-	0.97	-	0.92	-						

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ 調査対象学部等の開設年度から報告年度まで記入してください。なお、開設年度以前は「-」を記入してください。
- ・ ()内には、編入学の状況について外数で記入してください。なお、編入学を複数年度で行っている場合には、(())書きとするなどし、その旨を「備考」に付記してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
- ・ 転入学生は記入しないでください。
- ・ []内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
- ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
- ・ 「入学定員超過率」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した入学定員、入学者数で算出してください。なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。
- ・ 「平均入学定員超過率」には、開設年度から報告年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。なお、完成年度を越えて報告書を提出する大学等は、報告年度から起算した修業年限に相当する期間の入学定員超過率の平均を記載してください。
- ・ 「平均入学定員超過率(控除後)」には、「平均入学定員超過率」が1.00倍を超える場合、「大学、短期大学及び高等専門学校の設置等に係る認可の基準」附則第2項及び第4項に該当する入学者の控除後の「平均入学定員超過率」を記入してください。なお、「平均入学定員超過率」が1.00倍以下の場合や、1.00倍を超える場合であっても上記の控除該当者がいない場合は、「-」としてください。
- ・ 「収容定員充足率」には、開設年度から報告年度までの報告年度における5月1日現在の収容定員数に対する学生数の割合を記入してください。算出に当たっては、「大学の設置等に係る提出書類の作成の手引(令和6年度開設用)IV.33収容定員の充足状況」をご確認ください。なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。また、完成年度を越えて報告書を提出する大学等は、報告年度から起算した修業年限に相当する期間の収容定員充足率を記載してください。
- ・ 「収容定員充足率(控除後)」には、「収容定員充足率」が1.00倍を超える場合、「大学、短期大学及び高等専門学校の設置等に係る認可の基準」第1条第2項により修業年限超過者を控除した場合及び附則第2項及び第4項を適用した場合の控除及び適用後の「収容定員充足率」を記入してください。なお、「収容定員充足率」が1.00倍以下の場合や、1.00倍を超える場合であっても上記の控除及び適用がない場合には、「-」としてください。

(5) -③ 調査対象学部等の在学者の状況

対象年度 学 年	平成30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次					63 [-] (-)	- [-] (-)	74 [-] (-)	- [-] (-)	78 [-] (-)	- [-] (-)	76 [-] (2)	- [-] (-)	
2年次							60 [-] (-)	- [-] (-)	73 [-] (1)	- [-] (-)	79 [-] (7)	- [-] (-)	
3年次									57 [-] (-)	- [-] (-)	62 [-] (-)	- [-] (-)	
4年次											57 [-] (-)	- [-] (-)	
計	[-] (-)	[-] (-)	[-] (-)	[-] (-)	63 [-] (-)	[-] (-)	134 [-] (-)	[-] (-)	208 [-] (1)	[-] (-)	274 [-] (9)	[-] (-)	

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ []内には、留学生の状況について、**内数**で記入してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
 - ・ ()内には、留年者の状況について、**内数**で記入してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
 - ・ 編入学生や転入学生も含めて記入してください。その際、備考欄に人数の内訳を記入してください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「計」については、**各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数**を記入してください。

(5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	在学者数(b)	退学者数(a)	内訳			主な退学理由 (留学生の理由は[]書き)
			入学した年度	退学者数		
				うち留学生数		
平成30年度	人	人	平成30年度	人	人	
令和元年度	人	人	平成30年度	人	人	
			令和元年度	人	人	
令和2年度	63 人	3 人	平成30年度	人	人	
			令和元年度	人	人	
			令和2年度	3 人	0 人	就学意欲の低下(1人)、他の教育機関への転学(1人)、学生個人の心身に関する事情(1人)
令和3年度	134 人	4 人	平成30年度	人	人	
			令和元年度	人	人	
			令和2年度	2 人	0 人	学生個人の心身に関する事情(1人)、他の教育機関への転学(1人)
			令和3年度	2 人	0 人	学習意欲の低下(1人)、他の教育機関への転学(1人)
令和4年度	208 人	0 人	平成30年度	人	人	
			令和元年度	人	人	
			令和2年度	0 人	0 人	
			令和3年度	0 人	0 人	
			令和4年度	0 人	0 人	
令和5年度	274 人	8 人	平成30年度	人	人	
			令和元年度	人	人	
			令和2年度	人	人	
			令和3年度	4 人	0 人	学生個人の心身に関する事情(3人)、家庭の事情(1人)
			令和4年度	4 人	0 人	他の教育機関への入学・転学(4)
			令和5年度	0 人	0 人	
合計		15 人		15 人	0 人	

- (注)・数字は、報告年度の5月1日現在の数字を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- 各対象年度の在学者数については、対象年度の人数を記入してください。(在学者数から退学者数を減らす必要はありません。)
 - 内訳については、退学した学生が入学した年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
 - 在学者数、退学者数には編入学生や転入学生も含めて記入してください。
 - 「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(○人)」というように、その人数も含めて記入してください。
(記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

(5) -⑤ 調査対象学部等の年度ごとの退学者の割合

【平成30年度】

$$\frac{\text{平成30年度の退学者数(a)}}{\text{平成30年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{-} \% \quad \text{数式が入力されています。}$$

【令和元年度】

$$\frac{\text{令和元年度の退学者数(a)}}{\text{令和元年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{-} \% \quad \text{数式が入力されています。}$$

【令和2年度】

$$\frac{\text{令和2年度の退学者数(a)}}{\text{令和2年度の在学者数(b)}} = \frac{3}{63} = \boxed{4.76} \% \quad \text{数式が入力されています。}$$

【令和3年度】

$$\frac{\text{令和3年度の退学者数(a)}}{\text{令和3年度の在学者数(b)}} = \frac{4}{134} = \boxed{2.98} \% \quad \text{数式が入力されています。}$$

【令和4年度】

$$\frac{\text{令和4年度の退学者数(a)}}{\text{令和4年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{208} = \boxed{0} \% \quad \text{数式が入力されています。}$$

【令和5年度】

$$\frac{\text{令和5年度の退学者数(a)}}{\text{令和5年度の在学者数(b)}} = \frac{8}{274} = \boxed{2.91} \% \quad \text{数式が入力されています。}$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

2 授業科目の概要

<医療科学部 臨床検査学科学科>

(1) -① 授業科目表

【認可時又は届出時】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担		
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手			
教養科目・基礎分野	科学の基礎	化学	1前	2								1	
	生物学	1後	2									1	
	物理学	1後		2								1	
	数学	1後		2								1	
	基礎セミナー	1前	1			10		3	2				
	人間と文化	言語と表現	1前		2								1
		日本国憲法	1後		2								1
		暮らしと経済	1前		2								1
		国際文化論	1前	1									1
		食文化論	1後		1								1
		手話	1後		1								1
		生命倫理	1後		2								1
		社会保障制度概論	1後		2								1
		哲学	2後		2								1
		心理学	2後		2								1
	コミュニケーション論	4前	1									1	
	スポーツ	健康とスポーツ	1前		2								1
		スポーツ実技	1後		1								1
	外国語	コミュニケーション英語Ⅰ	1前	1									1
		コミュニケーション英語Ⅱ	1後	1									1
		メディカル英語Ⅰ	2前	1									1
		メディカル英語Ⅱ	2後	1									1
		ドイツ語Ⅰ	1前		1								1
		ドイツ語Ⅱ	1後		1								1
		中国語Ⅰ	1後		1								1
		中国語Ⅱ	2前		1								1
		フランス語Ⅰ	2前		1								1
		フランス語Ⅱ	2後		1								1
小計(28科目)	—	—	17	23	0								
専門基礎科目	人体構造・機能と薬理	人体解剖学	1前	1			1						
		超音波解剖学	1前	1				1					
		人体組織学	1前	1			1						
		人体生理学	1前	2			1						
		基礎生化学	1前	1				1					
		薬理学	2前	2			1						
		病態の基礎検査	微生物学	1後	2			1					
	免疫学		1後	2			1						
	病理学		1前	2			1						
	保健医療福祉	食品衛生学	2前		2							1	
		公衆衛生学	2後		2		1						
		公衆衛生学実習	3前	1			1				1		
		国際保健医療学	4前	2			1						
		医学概論	1前	1			1						
	保健行政論	3前	1			1							
	情報科学と医学	情報科学	1後	1								1	
		医用工学概論	2前	2			1						
		医用工学実習	2後	1			2				1		
	チーム医療	チーム医療学	2後	1			2			1		2	
		BLS演習	4前		1		1						
小計(20科目)	—	—	26	3	0								

【令和5年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担		
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手			
基礎分野	科学的思考の基盤	化学	1前	2								1	
		生物学	1後	2								1	
		物理学	1後		2							1	
		数学	1前		2							1	
		データサイエンス	3前	1								1	
	基礎セミナー	1前	1			10	1	5	2				
	人間と生活・社会の理解	言語と表現	1前		2								1
		日本国憲法	1後		2								1
		暮らしと経済	1前		2								1
		国際文化論	3前	1									1
		食文化論	1後		1								1
		手話	1後		1								1
		生命倫理	1後		2								1
		社会保障制度概論	3前	2									1
		哲学	2後		2								1
		心理学	2後		2								1
		コミュニケーション論	4前	1									1
		健康とスポーツ	1前		2								1
		スポーツ実技	1後		1								1
		コミュニケーション英語Ⅰ	1前	1									1
		コミュニケーション英語Ⅱ	1後	1									1
		メディカル英語Ⅰ	2前		1								1
		メディカル英語Ⅱ	2後		1								1
		ドイツ語Ⅰ	1前		1								1
		ドイツ語Ⅱ	1後		1								1
	中国語Ⅰ	4前		1								1	
	中国語Ⅱ	4後		1								1	
	フランス語Ⅰ	4前		1								1	
	フランス語Ⅱ	4後		1								1	
小計(29科目)	—	—	16	25	0								
人体の構造と機能	人体解剖学	1前	1			1							
	超音波解剖学	1前	1					1					
	人体組織学	1後	1			1							
	人体生理学	1前	2			1							
	基礎生化学	1前	1					1					
	薬理学	2前	2			1							
	その疾病との関連と臨床検査との関連	医学概論	1前	1			1						
		臨床生化学	1前	1			1						
		免疫学	1後	2			1						
		臨床検査総論Ⅰ	1後	1			1						
保健医療福祉と臨床検査	食品衛生学	2前		2							1		
	公衆衛生学	3前	2			1							
	公衆衛生学実習	3前	1			1				1			
	国際保健医療学Ⅰ	3前	1			1							
	国際保健医療学Ⅱ	4前	1			1							
保健行政論	3前	1			1								
医療工学及び医療情報	情報科学	1後	1								1		
	医用工学概論	2前	2			1							
	医用工学実習	2後	1			1		1			1		
小計(19科目)	—	—	22	3	0								

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
専門科目	臨床病態学	病態生理学	1後	2			1					
		臨床病態学Ⅰ	2前	2			1					
		臨床病態学Ⅱ	2後	2			1					
		病態栄養学	4前	2			1					
	形態検査学	血液検査学Ⅰ	2前	2			1					
		血液検査学Ⅱ	2後	2			1					
		血液検査学実習Ⅰ	2後	1			2				1	
		血液検査学実習Ⅱ	3前	1			2				1	
		病理組織検査学	1後	2					1			
		病理細胞検査学	2前	1					1			
		病理検査学実習	2前	1			1		1		1	
	生物化学分析検査学	臨床生化学	1前	1			1					1
		食品分析学	2後	2	1							
		臨床化学検査学Ⅰ	1後	2					1			
		臨床化学検査学Ⅱ	2前	2			1					
		臨床化学検査学実習Ⅰ	2後	1			1		1		1	
		臨床化学検査学実習Ⅱ	2後	1			1		1		1	
		放射性同位元素検査学	3前	1			1					
		質量分析検査学	3前	2			1					
		遺伝子検査学	3前	2			1					
		遺伝子検査学実習	3前	1			2				1	
	病因・生体防御検査学	免疫検査学Ⅰ	2前	2						1		
		免疫検査学Ⅱ	2後	1					1	1	1	
		免疫検査学実習	2後	1			1		1	1	1	
		病原微生物検査学Ⅰ	2前	2			1			1		
		病原微生物検査学Ⅱ	2後	1			1			1		
		病原微生物検査学実習	3前	1			1			1	1	
		輸血・移植検査学	3前	1			1					
		動物検査学(実習を含む)	2後	2			2				1	
	生理機能検査学	臨床生理検査学Ⅰ	1後	2								1
		臨床生理検査学Ⅱ	2前	2			1					
		臨床生理検査学Ⅲ	2後	2			1					
		臨床生理検査学実習Ⅰ	3前	1					1		1	1
		臨床生理検査学実習Ⅱ	3前	1					1		1	1
	臨床超音波検査学	3前	1					1				
	超音波検査学特論(実習を含む)	3後	2					1		1		
	検査総合管理学	臨床検査総論	2前	2			1					
		臨床検査総論実習	2後	1			1			1	1	
		検査管理総論	1後	2			1					
		国際臨床検査学	3前	1			1					
医療統計学演習		3後	1	1		1						
医療安全管理学	医療安全管理学	3前	1			1						
	臨床検査学総合演習Ⅰ	3前	1			2		1	1			
臨床検査学総合演習Ⅱ	4後	1			2		1	1				

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
専門分野	病態学	病態生理学	1後	2			1					
		病態学Ⅰ	2前	2			1					
		病態学Ⅱ	3前	2			1					
		病態栄養学	4前	2			1					
	血液学的検査	血液検査学Ⅰ	2前	2			1					
		血液検査学Ⅱ	2後	2			1			1		
		血液検査学実習Ⅰ	2後	1			2			1	1	
		血液検査学実習Ⅱ	3前	1			2			1	1	
	病理学的検査	病理学	1前	2			1					
		病理組織検査学	1後	2					1			
		病理細胞検査学	2前	1					1			
		病理検査学実習	2前	1			1		1		1	
	尿・糞便等一般検査	臨床検査総論Ⅱ	2前	1			1					
		臨床検査総論実習	2後	1					1	1	1	
		動物検査学(実習含む)	2後	2					1		1	
	生化学的検査・免疫学的検査	食品分析学	2後	2	1							1
		臨床化学検査学Ⅰ	1後	2					1			
		臨床化学検査学Ⅱ	2前	2					1			
		臨床化学検査学実習Ⅰ	2後	1			1		1		1	
		臨床化学検査学実習Ⅱ	2後	1			1		1		1	
		放射性同位元素検査学	3前	1			1					
		質量分析検査学	3前	2			1					
		免疫検査学Ⅰ	2前	2							1	
		免疫検査学実習	2後	1			1				1	1
		遺伝子検査学	遺伝子検査学	3前	2					1		
	遺伝子検査学実習		3前	1					2		1	
	輸血・移植検査学		3前	1			1					
	輸血・移植検査学	免疫検査学Ⅱ	2前	1							1	
		血液型・組織適合抗原検査学(実習を含む)	2前	2					2		1	
	微生物学的検査	微生物学	1後	2			1					
病原微生物検査学Ⅰ		2前	2			1				1		
病原微生物検査学Ⅱ		2後	1			1				1		
病原微生物検査学実習		3前	1			1				1	1	
生理学的検査	臨床生理検査学Ⅰ	1後	2						1			
	臨床生理検査学Ⅱ	2前	2						1			
	臨床生理検査学Ⅲ	2後	2						1			
	臨床生理検査学実習Ⅰ	3前	1						1	1		
	臨床生理検査学実習Ⅱ	3前	1						1	1		
	臨床超音波検査学	3前	1						1			
超音波検査学特論(実習を含む)	4前	2						1		1		
臨床検査総合管理	検査管理総論	3前	2			1						
	国際臨床検査学	3前	1			1						
	臨床検査学総合演習Ⅱ	4後	1						3	1		
チーム医療学	4前	1			2				1	2		

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
専門科目	臨地実習	3後	8			2		1	1		
	卒業研究 I	4前	2			10		3	1	4	
	卒業研究 II	4後	2			10		3	1	4	
	小計(47科目)	—	72	4	0						
合計(95科目)			—	115	30	0					
卒業要件及び履修方法											
一般教養科目から必修17単位及び選択7単位以上(科学的思考の基礎からの2単位及び外国語からの2単位を含む)、専門基礎科目から必修26単位及び選択1単位以上、専門科目から必修72単位及び選択1単位以上を修得し、合計124単位(必修115単位、選択9単位)以上修得すること。1年間の履修登録単位数の上限は45単位とする。											

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
専門分野	臨床検査総合	卒業研究 I	4前	2			10	1	4	2	4
		卒業研究 II	4後	2			10	1	4	2	4
		医療統計学演習	3後		1		1				
	医療安全	BLSプロバイダー演習	1前	1			1				
		医療安全管理学	1前	1			1				
	臨地実習	臨地実習	3後	11			1		2	1	
		臨床検査学総合演習 I	3前	1					3	1	
	小計(51科目)		—	83	2	0					
	合計(99科目)			—	121	30	0				
	卒業要件及び履修方法										
一般教養科目から必修16単位及び選択7単位以上(科学的思考の基礎からの2単位、人間と生活・社会の理解から2単位、そのうち外国語から2単位)、専門基礎分野から必修22単位及び選択1単位以上、専門科目から必修83単位及び選択1単位以上を修得し、合計130単位(必修121単位、選択9単位)以上修得すること。1年間の履修登録単位数の上限は45単位とする。											

【令和4年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
基礎分野	科学的思考の基礎	化学	1前	2							1
		生物学	1後	2							1
		物理学	1後		2						1
		数学	1前		2						1
		データサイエンス	3前	1							1
	人間と生活・社会の理解	基礎セミナー	1前	1			10	1	4	2	
		言語と表現	1前		2						1
		日本国憲法	1後		2						1
		暮らしと経済	1前		2						1
		国際文化論	3前	1							1
		食文化論	1後		1						1
		手話	1後		1						1
		生命倫理	1後		2						1
		社会保障制度概論	3前	2							1
		哲学	2後		2						1
		心理学	2後		2						1
		コミュニケーション論	4前	1							1
		健康とスポーツ	1前	2							1
		スポーツ実技	1後		1						1
		コミュニケーション英語 I	1前	1							1
		コミュニケーション英語 II	1後	1							1
		メディカル英語 I	2前		1						1
		メディカル英語 II	2後		1						1
		ドイツ語 I	1前		1						1
	ドイツ語 II	1後		1						1	
	中国語 I	4前		1						1	
	中国語 II	4後		1						1	
	フランス語 I	4前		1						1	
	フランス語 II	4後		1						1	
小計(29科目)	-	-	16	25	0						
専門基礎分野	人体の構造と機能	人体解剖学	1前	1			1				
		超音波解剖学	1前	1					1		
		人体組織学	1後	1			1				
		人体生理学	1前	2			1				
		基礎生化学	1前	1					1		
		薬理学	2前	2			1				
		その臨床検査との基礎と									
	医学概論	医学概論	1前	1			1				
		臨床生化学	1前	1			1				
		免疫学	1後	2			1				
		臨床検査総論 I	1後	1			1				
		保健医療福祉と臨床検査	食品衛生学	2前		2					
	公衆衛生学		3前	2			1				
	公衆衛生学実習		3前	1			1				1
	国際保健医療学 I		3前	1			1				
	国際保健医療学 II		4前		1		1				
	保健行政論		3前	1			1				
	医療工学概論及び	情報科学	1後	1							1
		医用工学概論	2前	2			1				
医用工学実習		2後	1			1		1		1	
小計(19科目)	-	-	22	3	0						

【令和3年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
教養科目・基礎分野	科学の基礎	化学	1前	2							1	
		生物学	1後	2							1	
		物理学	1後		2						1	
		数学	1前		2						1	
		基礎セミナー	1前	1			10	1	4	2		
	人間と文化	言語と表現	1前		2						1	
		日本国憲法	1後		2						1	
		暮らしと経済	1前		2						1	
		国際文化論	1前	1							1	
		食文化論	1後		1						1	
		手話	1後		1						1	
		生命倫理	1後	2							1	
		社会保障制度概論	1後	2							1	
		哲学	2後		2						1	
		心理学	2後		2						1	
		コミュニケーション論	4前	1							1	
	スポーツ	健康とスポーツ	1前	2							1	
		スポーツ実技	1後		1						1	
	外国語	コミュニケーション英語 I	1前	1							1	
		コミュニケーション英語 II	1後	1							1	
		メディカル英語 I	2前	1							1	
		メディカル英語 II	2後	1							1	
		ドイツ語 I	1前		1						1	
		ドイツ語 II	1後		1						1	
		中国語 I	1後		1						1	
		中国語 II	2前		1						1	
		フランス語 I	2前		1						1	
		フランス語 II	2後		1						1	
	小計(28科目)	-	-	17	23	0						
	専門基礎科目	人体解剖学・機能と薬理	人体解剖学	1前	1			1				
			超音波解剖学	1前	1					1		
			人体組織学	1前	1			1				
			人体生理学	1前	2			1				
			基礎生化学	1前	1					1		
薬理学			2前	2			1					
病原因・免疫検査の基礎												
微生物学		微生物学	1後	2			1					
		免疫学	1後	2			1					
		病理学	1前	2			1					
保健医療福祉		食品衛生学	2前		2						1	
		公衆衛生学	2後	2			1					
		公衆衛生学実習	3前	1			1				1	
		国際保健医療学	4前	2			1					
	医学概論	1前	1			1						
保健行政論	3前	1			1							
情報科学と医用工学	情報科学	1後	1							1		
	医用工学概論	2前	2			1						
	医用工学実習	2後	1			1		1		1		
チーム医療学	チーム医療学	2後	1			2			1	2		
	BLS演習	4前		1		1						
小計(20科目)	-	-	26	3	0							

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任				
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手					
専門分野	病態学	病態生理学	1後	2			1								
		病態学Ⅰ	2前	2			1								
		病態学Ⅱ	3前	2			1								
		病態栄養学	4前	2			1								
	血液学的検査	血液検査学Ⅰ	2前	2			1								
		血液検査学Ⅱ	2後	2			1								
		血液検査学実習Ⅰ	2後	1			2				1				
		血液検査学実習Ⅱ	3前	1			2				1				
	病理学的検査	病理学	1前	2			1								
		病理組織検査学	1後	2				1							
		病理細胞検査学	2前	1				1							
		病理検査学実習	2前	1			1				1				
	尿・糞便等一般検査	臨床検査総論Ⅱ	2前	1			1								
		臨床検査総論実習	2後	1				1	1	1					
		医動物検査学(実習を含む)	2後	2				1		1					
	生化学的検査・免疫学的検査	食品分析学	2後		1									1	
		臨床化学検査学Ⅰ	1後	2					1						
		臨床化学検査学Ⅱ	2前	2			1								
		臨床化学検査学実習Ⅰ	2後	1			1		1		1				
		臨床化学検査学実習Ⅱ	2後	1			1		1		1				
		放射性同位元素検査学	3前	1			1								
		質量分析検査学	3前	2			1								
		免疫検査学Ⅰ	2前	2						1					
		免疫検査学実習	2後	1			1		1	1					
		遺伝子検査学	遺伝子検査学	3前	2			1							
			遺伝子検査学実習	3前	1			2				1			
	輸血・移植検査学	輸血、移植検査学	3前	1			1								
		免疫検査学Ⅱ	2前	1						1					
	血液型・組織適合抗原検査学(実習を含む)	血液型・組織適合抗原検査学(実習を含む)	2前	2			2			1					
	微生物学	微生物学	1後	2			1								
		病原微生物検査学Ⅰ	2前	2			1			1					
		病原微生物検査学Ⅱ	2後	1			1			1					
		病原微生物検査学実習	3前	1			1			1	1				
生理学的検査	臨床生理検査学Ⅰ	1後	2				1								
	臨床生理検査学Ⅱ	2前	2				1								
	臨床生理検査学Ⅲ	2後	2				1								
	臨床生理検査学実習Ⅰ	3前	1				1	1		1					
	臨床生理検査学実習Ⅱ	3前	1				1	1		1					
	臨床超音波検査学	3前	1					1							
超音波検査学特論(実習を含む)	4前	2					1			1					
臨床検査総合管理	検査管理総論	3前	2			1									
	国際臨床検査学	3前	1			1									
	臨床検査学総合演習Ⅱ	4後	1				2	1							
	千一ム医療学	4前	1			2			1				2		

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任				
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手					
専門科目	臨床病態学	病態生理学	1後	2			1								
		臨床病態学Ⅰ	2前	2			1								
		臨床病態学Ⅱ	2後	2			1								
		病態栄養学	4前	2			1								
	形態検査学	血液検査学Ⅰ	2前	2			1								
		血液検査学Ⅱ	2後	2			1								
		血液検査学実習Ⅰ	2後	1			2					1			
		血液検査学実習Ⅱ	3前	1			2					1			
		病理組織検査学	1後	2						1					
		病理細胞検査学	2前	1						1					
	生物化学検査学	臨床生化学	1前	1			1								
		食品分析学	2後		1									1	
		臨床化学検査学Ⅰ	1後	2						1					
		臨床化学検査学Ⅱ	2前	2						1					
		臨床化学検査学実習Ⅰ	2後	1			1			1	1				
		臨床化学検査学実習Ⅱ	2後	1			1			1	1				
		放射性同位元素検査学	3前	1			1								
		質量分析検査学	3前	2			1								
		遺伝子検査学	3前	2			1								
	病原因・生体防御検査学	免疫検査学Ⅰ	2前	2								1			
		免疫検査学Ⅱ	2後	1						1		1			
		免疫検査学実習	2後	1						1		1			
		病原微生物検査学Ⅰ	2前	2						1		1			
		病原微生物検査学Ⅱ	2後	1						1		1			
		病原微生物検査学実習	3前	1						1		1			
		輸血・移植検査学	3前	1						1					
		医動物検査学(実習を含む)	医動物検査学(実習を含む)	2後	2						1				1
	生理機能検査学	臨床生理検査学Ⅰ	1後	2						1					
		臨床生理検査学Ⅱ	2前	2						1					
		臨床生理検査学Ⅲ	2後	2						1					
		臨床生理検査学実習Ⅰ	3前	1						1	1				
		臨床生理検査学実習Ⅱ	3前	1						1	1				
	検査総合管理学	臨床検査総論	2前	2			1								
臨床検査総論実習		2後	1					1		1	1				
検査管理総論		1後	2										1		
国際臨床検査学		3前	1					1							
医療安全管理学	医療安全管理学	3前	1						1						
	臨床検査学総合演習	臨床検査学総合演習Ⅰ	3前	1							2	1			
		臨床検査学総合演習Ⅱ	4後	1							2	1			

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
専門分野	臨床検査学総合 卒業研究 I	4前	2			10	1	4	2	4	
		4後	2			10	1	4	2	4	
	臨床検査学総合 卒業研究 II	4後	2			10	1	4	2	4	
		3後		1		1					
	医療安全管理学 BLSプロバイダー演習	1前	1			1					
		1前	1			1					
	臨床実習 臨地実習	3後	11			1		2	1		
		3前	1					2	1		
	小計(51科目)		—	83	2	0					
	合計(99科目)		—	121	30	0					
卒業要件及び履修方法											
一般教養科目から必修16単位及び選択7単位以上(科学的思考の基盤からの2単位、人間と生活・社会の理解から2単位、そのうち外国語から2単位)、専門基礎分野から必修22単位及び選択1単位以上、専門科目から必修83単位及び選択1単位以上を修得し、合計130単位(必修121単位、選択9単位)以上修得すること。 1年間の履修登録単位数の上限は45単位とする。											

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
専門科目	臨床実習 臨地実習	3後	8			2		1	1		
		4前	2			10	1	4	2	4	
	卒業研究 卒業研究 I	4後	2			10	1	4	2	4	
		4後	2			10	1	4	2	4	
小計(47科目)		—	72	4	0						
合計(95科目)		—	115	30	0						
卒業要件及び履修方法											
一般教養科目から必修17単位及び選択7単位以上(科学的思考の基礎からの2単位及び外国語からの2単位を含む)、専門基礎科目から必修26単位及び選択1単位以上、専門科目から必修72単位及び選択1単位以上を修得し、合計124単位(必修115単位、選択9単位)以上修得すること。 1年間の履修登録単位数の上限は45単位とする。											

【令和2年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任		
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手			
教養科目・基礎分野	科学の基礎	化学	1前	2								1	
		生物学	1後	2								1	
		物理学	1後		2							1	
		数学	1後		2							1	
		基礎セミナー	1前	1			10		3	2			
	人間と文化	言語と表現	1前		2								1
		日本国憲法	1後		2								1
		暮らしと経済	1前		2								1
		国際文化論	1前		1								1
		食文化論	1後		1								1
		手話	1後		1								1
		生命倫理	1後		2								1
		社会保障制度概論	1後		2								1
		哲学	2後		2								1
		心理学	2後		2								1
	コミュニケーション論	4前		1								1	
	スポーツ	健康とスポーツ	1前		2								1
		スポーツ実技	1後		1								1
	外国語	コミュニケーション英語Ⅰ	1前		1								1
		コミュニケーション英語Ⅱ	1後		1								1
		メディカル英語Ⅰ	2前		1								1
		メディカル英語Ⅱ	2後		1								1
		ドイツ語Ⅰ	1前		1								1
		ドイツ語Ⅱ	1後		1								1
		中国語Ⅰ	1後		1								1
		中国語Ⅱ	2前		1								1
		フランス語Ⅰ	2前		1								1
	フランス語Ⅱ	2後		1								1	
	小計(28科目)	—	17	23	0								
専門基礎科目	人体構造・機能と薬理	人体解剖学	1前	1			1						
		超音波解剖学	1前	1				1					
		人体組織学	1前	1			1						
		人体生理学	1前	2			1						
		基礎生化学	1前	1				1					
		薬理学	2前	2			1						
		病態の基礎検	微生物学	1後	2			1					
	免疫学		1後	2			1						
	病理学		1前	2			1						
	保健医療福祉	食品衛生学	2前		2							1	
		公衆衛生学	2後		2		1						
		公衆衛生学実習	3前		1		1				1		
		国際保健医療学	4前		2		1						
		医学概論	1前		1		1						
		保健行政論	3前		1		1						
	情報科学と医用工学	情報科学	1後		1							1	
		医用工学概論	2前		2		1						
		医用工学実習	2後		1		2				1		
	チーム医療学	チーム医療学	2後		1		2			1		2	
		BLS演習	4前		1		1						
	小計(20科目)	—	26	3	0								

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置				兼任・兼任		
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教		助手	
専門科目	臨床病態学	病態生理学	1後	2			1					
		臨床病態学Ⅰ	2前	2			1					
		臨床病態学Ⅱ	2後	2			1					
		病態栄養学	4前	2			1					
	形態検査学	血液検査学Ⅰ	2前	2			1					
		血液検査学Ⅱ	2後	2			1					
		血液検査学実習Ⅰ	2後	1			2				1	
		血液検査学実習Ⅱ	3前	1			2				1	
		病理組織検査学	1後	2					1			
		病理細胞検査学	2前	1					1			
		病理検査学実習	2前	1			1		1		1	
	生物化学分析検査学	臨床生化学	1前	1			1					1
		食品分析学	2後	1	1							
		臨床化学検査学Ⅰ	1後	2					1			
		臨床化学検査学Ⅱ	2前	2			1					
		臨床化学検査学実習Ⅰ	2後	1			1		1		1	
		臨床化学検査学実習Ⅱ	2後	1			1		1		1	
		放射性同位元素検査学	3前	1			1					
		質量分析検査学	3前	2			1					
		遺伝子検査学	3前	2			1					
		遺伝子検査学実習	3前	1			2				1	
	病因・生体防御検査学	免疫検査学Ⅰ	2前	2						1		
		免疫検査学Ⅱ	2後	1						1		
		免疫検査学実習	2後	1			1			1	1	
		病原微生物検査学Ⅰ	2前	2			1			1		
		病原微生物検査学Ⅱ	2後	1			1			1		
		病原微生物検査学実習	3前	1			1			1	1	
		輸血・移植検査学	3前	1			1					
		医動物検査学(実習を含む)	2後	2			2				1	
	生理機能検査学	臨床生理検査学Ⅰ	1後	2								1
		臨床生理検査学Ⅱ	2前	2			1					
		臨床生理検査学Ⅲ	2後	2			1					
		臨床生理検査学実習Ⅰ	3前	1					1		1	1
		臨床生理検査学実習Ⅱ	3前	1					1		1	1
		臨床超音波検査学	3前	1					1			
		超音波検査学特論(実習を含む)	3後		2				1		1	
	検査総合管理学	臨床検査総論	2前	2			1					
		臨床検査総論実習	2後	1			1			1	1	
		検査管理総論	1後	2								1
		国際臨床検査学	3前	1			1					
医療統計学演習		3後		1		1						
医療安全管理学	3前	1			1							
臨床検査学総合演習	臨床検査学総合演習Ⅰ	3前	1			2		1	1			
	臨床検査学総合演習Ⅱ	4後	1			2		1	1			
実習地	臨地実習	3後	8			2		1	1			
卒業研究	卒業研究Ⅰ	4前	2			10		3	1	4		
	卒業研究Ⅱ	4後	2			10		3	1	4		
	小計(47科目)	—	72	4	0							
合計(95科目)			—	115	30	0						
卒業要件及び履修方法												
<p>一般教養科目から必修17単位及び選択7単位以上(科学的思考の基礎からの2単位及び外国語からの2単位を含む)、専門基礎科目から必修26単位及び選択1単位以上、専門科目から必修72単位及び選択1単位以上を修得し、合計124単位(必修115単位、選択9単位)以上修得すること。</p> <p>1年間の履修登録単位数の上限は45単位とする。</p>												

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
 - ・ 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引」の「教育課程等の概要」を確認してください。
 - ・ 「認可時又は届出時」には 設置認可時又は届出時の授業科目全て(兼任、兼担教員が担当する科目を含む。)を黒字で記入してください。その上で、各年度については、**認可時又は届出時から変更となっている箇所は太字の赤字**としてください。
 - ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても科目名の後ろに「(未開講)」として記入してください。
 - ・ 1ページ目には認可時又は届出時と報告年度2つの表を記入してください。
 - ・ 不要な年度(令和4年度開設であれば令和3年度以前)の表は適宜削除してください。
(2つの表が1ページに表示されるようにしてください。)
 - ・ 専門職大学等の場合、「実験、実習又は実技による授業科目」には「【※】」、「臨地実務実習」による授業科目には「【臨】」、「連携実務演習」による授業科目には「【連】」を授業科目の名称の右側に記入してください。
 - ・ 指定規則の改正により、新旧カリキュラムを並行して実施している場合は、新旧シートを分けてご作成ください。

(1) ②授業科目表に関する変更内容

【令和2年度】

- ・「検査管理総論」の教授が着任前という理由の為、兼任として担当。

【令和3年度】

- ・「科学の基礎」の科目区分内で前期に選択できる科目がないという理由により、数学を後期から前期に変更。
- ・指導体制強化という理由により「基礎セミナー」の担当教員に准教授1名、1名講師を追加。
- ・「臨床検査総論実習」に適任の講師着任という理由により教授から准教授に変更。
- ・「医用工学実習」に適任の講師着任という理由により教授から講師に変更。
- ・「医動物検査学(実習を含む)」に適任の講師着任という理由により担当を変更。
- ・「臨床生理検査学Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ」に適任の准教授着任という理由により担当を変更。
- ・「臨床生理検査学実習Ⅰ、Ⅱ」に適任の准教授着任という理由により担当を追加。
- ・「臨床検査学総合演習Ⅰ」に適任の講師着任という理由により、兼任を講師に変更。
- ・「臨床検査学総合演習Ⅱ」に適任の講師着任という理由により教授2名から講師2名に変更。
- ・指導体制強化という理由により「卒業研究Ⅰ」「卒業研究Ⅱ」の担当教員に准教授1名、1名講師を追加。

【令和4年度】

- ・指定規則変更によるカリキュラム改訂を理由として下記の変更を行った。
- ・「基礎教養科目・基礎分野」を「基礎分野」とし、「科学の基礎」「人間と文化」「スポーツ」「外国語」を「科学的思考の基盤」「人間と生活・社会の理解」の編成に変更。
- ・「専門基礎科目」を「専門基礎分野」とし、「人体構造・機能と薬理」「病因・免疫検査の基礎」「保健医療福祉」「情報科学と医用工学」「チーム医療学」を「人体の構造と機能」「臨床検査の基礎とその疾病との関連」「保健医療福祉と臨床検査」「医療工学及び医療情報」の編成に変更。
- ・「専門科目」を「専門分野」とし、「臨床病態学」「形態検査学」「生物化学分析検査学」「生理機能検査学」「検査総合管理学」「医療安全管理学」「臨床検査学総合演習」「臨床実習」「卒業研究」を「病態学」「血液学的検査」「病理学的検査」「尿・糞便等一般検査」「生化学的検査・免疫学的検査」「遺伝子関連、染色体検査」「輸血・移植検査」「微生物学的検査」「生理学的検査」「臨床検査総合管理」「医療安全管理」「臨床実習」の編成に変更。
- ・科学的思考の基盤に「データサイエンス」を新設。
- ・メディカル英語Ⅰ、メディカル英語Ⅱを必修から選択に変更。
- ・「中国語Ⅰ」を1年後期から4年前期、「中国語Ⅱ」を2年前期から4年後期に変更。
- ・「フランス語Ⅰ」を2年前期から4年前期、「フランス語Ⅱ」を2年後期から4年後期に変更。
- ・「臨床検査の基礎とその疾病との関連」区分に「臨床生化学」を移動。
- ・「臨床検査の基礎とその疾病との関連」区分に「医学概論」を移動。
- ・「臨床検査総論」を分割し、専門基礎分野「臨床検査の基礎とその疾病との関連」に「臨床検査総論Ⅰ」を1年後期に配置。
- ・「臨床検査総論」を分割し、専門分野「尿・糞便等一般検査」に「臨床検査総論Ⅱ」を2年前期に配置。
- ・「公衆衛生学」を2年後期から3年前期に変更。
- ・「国際保健医療学」を分割し、「国際保健医療学Ⅰ」を3年前期に配置、国際保健医療学Ⅱを選択科目に変更し、4年前期に配置。
- ・「臨床病態学Ⅰ」を「病態学Ⅰ」に名称変更。
- ・「臨床病態学Ⅱ」を「病態学Ⅱ」に名称変更し、3年前期に変更。
- ・専門基礎分野の「病理学」を専門分野「病理学的検査」に変更。
- ・教育効果の向上という理由により「臨床検査総論実習」に講師1名を追加。
- ・「免疫検査学Ⅱ」を2年後期から2年前期に変更。
- ・「血液型、組織適合抗原検査学(実習を含む)」を新設。
- ・専門基礎分野「微生物学」を専門科目「微生物学的検査」に変更。
- ・「超音波検査学特論(実習を含む)」を選択から必修に変更し、3年後期から4年前期に配置。
- ・「検査管理総論」を1年後期から3年前期に変更。
- ・専門基礎分野の「チーム医療学」を専門分野「臨床検査総合管理」に変更し、2年後期から4年前期に変更。
- ・専門基礎分野の選択科目「BLS演習」を専門分野「医療安全管理学」の必修科目として「BLSプロバイダー演習」に変更し、4年前期から1年前期に変更。
- ・「臨床実習」を8単位から11単位に変更し、教授1名、講師2名に変更。

【令和5年度】

- 講師の新規採用という理由により、「基礎セミナー」、「血液検査学Ⅱ」、「血液検査学実習Ⅰ」、「血液検査学実習Ⅱ」、「臨床検査学総合演習Ⅰ」、「臨床検査学総合演習Ⅱ」の担当を追加した。

- (注) 2(1) ① 授業科目表に記入された各年度における変更内容(配当年次の変更、専任教員等の配置の変更、授業科目名の変更、新規科目の追加など)を箇条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- ・ 変更内容には、授業科目の未開講や廃止については記入しないでください。
 - ・ 不要な年度(令和4年度開設であれば令和3年度以前)の表は適宜削除してください。
 - ・ 指定規則の改正により、新旧カリキュラムを並行して実施している場合は、新旧の変更内容をそれぞれ1つの枠内に記入してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計 (A)	必修	選択	自由	計	
74 科目	21 科目	0 科目	95 科目	77 科目 [3]	22 科目 [1]	0 科目 []	99 科目 [4]	

- (注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[] 内に、設置時の計画からの増減を記入してください。(記入例：1科目減の場合：△1)
- ・ 指定規則の改正により、新旧カリキュラムを並行して実施している場合は、「変更状況」には変更後のカリキュラム(新カリキュラム)の授業科目数及び設置時の計画からの増減を記入するとともに、「備考」に変更前のカリキュラム(旧カリキュラム)の授業科目数と設置時の計画からの増減を記入してください。

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由、代替措置の有無
1						該当なし
2						
3						

- (注) ・ 配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については記入しないでください。
 - ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。
 - ・ 専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。
 - ・ 該当がない場合は「未開講の理由、代替措置の有無」欄に「該当なし」と記入してください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由、代替措置の有無
1						該当なし
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」として記入してください。
 - ・ 専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。
 - ・ 該当がない場合は「未開講の理由、代替措置の有無」欄に「該当なし」と記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

該当なし

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目(3)と廃止科目(4)の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計(A)}} = \frac{0}{95} = \boxed{0} \%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。
・ 「未開講科目と廃止科目の計」が、「(3)未開講科目」と「(4)廃止科目」の合計数となるように留意してください。

3 施設・設備の整備状況、経費

区 分		内 容				備考			
(1) 校 舎 等	区 分	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計	修文大学短期大学部 (必要面積5,400㎡)と 共用(収容定員540人)			
	校舎敷地	4,279.62㎡	5,460.99㎡	2,501.69㎡	12,242.30㎡				
	運動場用地	0.00㎡	25,376.36㎡	0.00㎡	25,376.36㎡				
	小 計	4,279.62㎡	30,837.35㎡	2,501.69㎡	37,618.66㎡				
	そ の 他	0.00㎡	1,321.69㎡	0.00㎡	1,321.69㎡				
合 計	4,279.62㎡	32,159.04㎡	2,501.69㎡	38,940.35㎡					
(2) 校 舎	専 用	10,758.30㎡ (10,758.30㎡)	9,274.09㎡ (9,274.09㎡)	4,969.89㎡ (4,969.89㎡)	25,002.28㎡ (25,002.28㎡)	修文大学短期大学部 (必要面積4,650㎡)と 共用(収容定員540人)			
	講 義 室	17室	演 習 室	18室	実験実習室		22室	情報処理学習施設	3室 (補助職員 0人)
(3) 教 室 等	新設学部等の名称		室 数						
(4) 専任教員研究室	医療科学部 臨床検査学科		16 室						
(5) 図 書 ・ 設 備	新設学部等の 名称	図 書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕	視聴覚資料 点	機械・器具 点	標 本 点	看護学部看護学科と共 用含む 教育・研究充実のため (2) 教育・研究充実のため (3) 教育・研究充実のため (4) 教育・研究充実のため (5)	
	医療科学部 臨床検査学科	1,758 [127]			83				
		1,758 -(109)			-78				
		1,604 -(109) -881 -(29)	6 5 [0]	2 [0]	-61 -32	1,523 1,252	73 57		
		1,419 [114] 1,240 -(107) -962 -(29) -885 [29] -(881) [29]	6 5 [0]	2 [0]	83 -78 -61 -(32)	1,167 (959)	(57)		
計	1,758 [127] 1,758 -(109) 1,604 -(109) -881 -(29) 1,419 [114] 1,240 -(107) -962 -(29) -885 [29] -(881) [29]	6 5 [0]	2 [0]	83 -78 -61 -(32)	1,523 1,252	73 57			
(6) 図 書 館	面 積	1,129㎡	閱 覧 座 席 数	155席	収 納 可 能 冊 数	101,000冊	修文大学短期大学部と 共用		
(7) 体 育 館	面 積	838㎡	体育館以外のスポーツ施設の概要						
		テニスコート3面							
(8) 経費の見積り及び維持方法の概要	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度	設備購入費は開設2年 目までに全て購入する 予定を完成年度までに 変更したため (2) 設備購入費は開設前の 予定どおり開設2年目 までに全て購入する (3) 図書購入費は完成年度 まで購入する (5)	
	経費の見積り	教員1人当り研究費等	500千円	500千円	図書購入費	2,237千円	1,092千円 3,318千円		
		共同研究費等	1,000千円	1,000千円	設備購入費	91,142千円	57,124千円 28,075千円		
	学生1人当り 納付金	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次		
		1,650千円	1,450千円	1,450千円	1,450千円	千円	千円		
学生納付金以外の維持方法の概要		資産運用収入、雑収入等							

図書購入費は完成年度まで購入する

- (注) ・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)
- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
 - ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には令和5年5月1日現在の数値を記入してください。
 - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(5)」を「備考」に赤字で記入してください。
 - ・ なお、昨年度の報告において赤字で見え消しした部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
 - ・ 校舎等建物の計画の変更(校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延)がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。
 - ・ 国立大学については「(8)経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

4 既設大学等の状況

大学の名称	修文大学										1	0	1	0
	平均入学定員超過率0.7倍以下の学科数	平均入学定員超過率1.15倍以上の学科数	0	1	0									
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	平均入学定員超過率(控除後)	収容定員充足率	収容定員充足率(控除後)	定員変更年度(AC期間の学科のみ)	開設年度	所在地	備考	
	年	人	年次人	人		倍	倍	倍	倍	年度	年度			
健康栄養学部	4	80	0	320	-	0.46	-	0.44	-	-	平成20	-		
管理栄養学科	4	80	0	320	学士(栄養学)	0.46	-	0.44	-	-	平成20	愛知県一宮市日光町6番地		
看護学部	4	100	0	400	-	1.10	-	1.12	-	-	平成28	-		
看護学科	4	100	5	400	学士(看護学)	1.10	-	1.12	-	-	平成28	同上		
医療科学部	4	80	0	320	-	0.89	-	0.85	-	-	令和2	-		
臨床検査学科	4	80	0	320	学士(臨床検査学)	0.89	-	0.85	-	-	令和2	同上		
大学全体	4	260	-	1,040	-	-	-	-	-	-	-	-		

大学の名称	修文大学 短期大学部										2	0	2	0
	平均入学定員超過率0.7倍以下の学科数	平均入学定員超過率1.15倍以上の学科数	0	2	0									
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	平均入学定員超過率(控除後)	収容定員充足率	収容定員充足率(控除後)	定員変更年度(AC期間の学科のみ)	開設年度	所在地	備考	
	年	人	年次人	人		倍	倍	倍	倍	年度	年度			
生活文化学科	2	100	-	200	短期大学士(家政学)	0.66	-	0.66	-	-	昭和30	愛知県一宮市日光町6番地		
幼児教育学科第一部	2	50	-	100	短期大学士(教育学)	0.17	-	0.17	-	-	昭和37	同上		
幼児教育学科第三部	3	80	-	240	短期大学士(教育学)	0.76	-	0.76	-	-	昭和44	同上		
大学全体	2 3	150 80	-	540	-	-	-	-	-	-	-	-		

- (注) ・本調査の対象となっている大学、短期大学及び高等専門学校(以下「大学等」という。)について、既に設置している学部等(短期大学、高等専門学校にあっては学科等)の報告年度の5月1日現在の状況を記入してください。(大学院、専攻科及び別科を除く)。
 なお、本調査の対象となっている大学等の設置者が設置している他の大学等の状況については、記入する必要はありません。
 (様式のうち、記載する必要がない学校種は削除してください)。
 ・学部の学科等、「入学定員を定めている組織」ごとに全ての組織を記入してください。
 ※「入学定員を定めている組織」ごとには、課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。
 ・履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
 ・本年度ACの対象となる学部等については、必ず下線を引いてください。
 ・「平均入学定員超過率」には、報告年度から起算した修業年限に相当する期間の入学定員超過率の平均を記載してください。
 ・「平均入学定員超過率(控除後)」には、「平均入学定員超過率」が1.00倍を超える場合、「大学、短期大学及び高等専門学校の設置等に係る認可の基準」附則第2項及び第4項に該当する入学者の控除後の「平均入学定員超過率」を記入してください。
 なお、「平均入学定員超過率」が1.00倍以下の場合や、1.00倍を超える場合であっても上記の控除該当者がいない場合は、「-」としてください。
 ・「収容定員充足率」には、報告年度における5月1日現在の収容定員数に対する学生数の割合を記入してください。
 算出に当たっては、「大学の設置等に係る提出書類の作成の手引(令和6年度開設用)IV.33収容定員の充足状況」をご確認ください。
 ・「収容定員充足率(控除後)」には、「収容定員充足率」が1.00倍を超える場合、「大学、短期大学及び高等専門学校の設置等に係る認可の基準」第1条第2項により修業年限超過者を控除した場合及び附則第2項及び第4項を適用した場合の控除及び適用後の「収容定員充足率」を記入してください。
 なお、「収容定員充足率」が1.00倍以下の場合や、1.00倍を超える場合であっても上記の控除及び適用がない場合は、「-」としてください。
 ・「平均入学定員超過率(控除後含む)」及び「収容定員充足率(控除後含む)」は、小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。
 また、0.7倍以下又は1.15倍以上の学科については、必ず赤字にしてください。
 ・「備考」の欄については、学年進行中の入学定員の増減や学生募集停止など、収容定員に影響のある情報を記入してください。

5 教員組織の状況

<医療科学部 臨床検査学科>

(1) ① 担当教員表

【認可時又は届出時】

【令和2年度】			【令和3年度】			【令和4年度】			【令和5年度】		
専任・兼任の別	氏名 (年齢) 年月 保有学位等	職名	専任・兼任の別	氏名 (年齢) 年月 保有学位等	職名	専任・兼任の別	氏名 (年齢) 年月 保有学位等	職名	専任・兼任の別	氏名 (年齢) 年月 保有学位等	職名
専	<令和2年4月> 医学博士	専 教授	専	<令和2年4月> 医学博士	専 教授	専	<令和2年4月> 医学博士	専 教授	専	<令和2年4月> 医学博士	専 教授
	人体生理学 I 臨床病態学 I 臨床生理検査学 II 臨床生理検査学 III			人体生理学 I 臨床病態学 I 臨床生理検査学 II 臨床生理検査学 III			人体生理学 I 臨床病態学 I 臨床生理検査学 II 臨床生理検査学 III 病態学 I			人体生理学 I 臨床病態学 I 臨床生理検査学 II 臨床生理検査学 III 病態学 I	
専	<令和2年4月> 医学博士	専 教授	専	<令和2年4月> 医学博士	専 教授	専	<令和2年4月> 医学博士	専 教授	専	<令和2年4月> 医学博士	専 教授
	基礎セミナー 免疫学 臨床病態学 II 病態学 免疫検査学実習 輸血・移植検査学 卒業研究 I 卒業研究 II 動物検査学 (実習を含む)			基礎セミナー 免疫学 臨床病態学 II 病態学 免疫検査学実習 輸血・移植検査学 卒業研究 I 卒業研究 II 動物検査学 (実習を含む)			基礎セミナー 免疫学 臨床病態学 II 病態学 免疫検査学実習 輸血・移植検査学 卒業研究 I 卒業研究 II 動物検査学 (実習を含む) 血液型、組織適合抗原検査学 (実習を含む) 病態学 II			基礎セミナー 免疫学 臨床病態学 II 病態学 免疫検査学実習 輸血・移植検査学 卒業研究 I 卒業研究 II 動物検査学 (実習を含む) 血液型、組織適合抗原検査学 (実習を含む)	
専	<令和4年4月> 博士 (医学)	専 教授	専	<令和4年4月> 博士 (医学)	専 教授	専	<令和4年4月> 博士 (医学)	専 教授	専	<令和4年4月> 博士 (医学)	専 教授
	基礎セミナー 質量分析検査学 遺伝子検査学 遺伝子検査学実習 卒業研究 I 卒業研究 II 検査管理総論 国際臨床検査学 医用工学実習			基礎セミナー 質量分析検査学 遺伝子検査学 遺伝子検査学実習 卒業研究 I 卒業研究 II 検査管理総論 国際臨床検査学 医用工学実習			基礎セミナー 質量分析検査学 遺伝子検査学 遺伝子検査学実習 卒業研究 I 卒業研究 II 検査管理総論 国際臨床検査学 医用工学実習			基礎セミナー 質量分析検査学 遺伝子検査学 遺伝子検査学実習 卒業研究 I 卒業研究 II 検査管理総論 国際臨床検査学 医用工学実習	
兼任	<令和2年4月> 博士 (医学)	兼任 教授	兼任	<令和2年4月> 博士 (医学)	兼任 教授	兼任	<令和2年4月> 博士 (医学)	兼任 教授			
	検査管理総論 医用工学実習			検査管理総論 医用工学実習			検査管理総論 医用工学実習				
専	<令和2年4月> 博士 (医学・薬学)	専 教授	専	<令和2年4月> 博士 (医学・薬学)	専 教授	専	<令和2年4月> 博士 (医学・薬学)	専 教授	専	<令和2年4月> 博士 (医学・薬学)	専 教授
	基礎セミナー 国際保健医療学 保健行政論 卒業研究 I 卒業研究 II			基礎セミナー 国際保健医療学 保健行政論 卒業研究 I 卒業研究 II			基礎セミナー 国際保健医療学 保健行政論 卒業研究 I 卒業研究 II 国際保健医療学 I 国際保健医療学 II			基礎セミナー 国際保健医療学 保健行政論 卒業研究 I 卒業研究 II 国際保健医療学 I 国際保健医療学 II	
専	<令和2年4月> 医学博士	専 教授	専	<令和2年4月> 医学博士	専 教授	専	<令和2年4月> 医学博士	専 教授	専	<令和2年4月> 医学博士	専 教授
	基礎セミナー 動物検査学 (実習を含む) 臨床検査総論 臨床検査学実習 臨床検査学総合演習 I 臨床検査学総合演習 II 臨床検査学実習 卒業研究 I 卒業研究 II			基礎セミナー 動物検査学 (実習を含む) 臨床検査総論 臨床検査学実習 臨床検査学総合演習 I 臨床検査学総合演習 II 臨床検査学実習 卒業研究 I 卒業研究 II			基礎セミナー 動物検査学 (実習を含む) 臨床検査総論 臨床検査学実習 臨床検査学総合演習 I 臨床検査学総合演習 II 臨床検査学実習 卒業研究 I 卒業研究 II 臨床検査総論 I 臨床検査総論 II			基礎セミナー 動物検査学 (実習を含む) 臨床検査総論 臨床検査学実習 臨床検査学総合演習 I 臨床検査学総合演習 II 臨床検査学実習 卒業研究 I 卒業研究 II 臨床検査総論 I 臨床検査総論 II	
専	<令和2年4月> 医学博士	専 教授	専	<令和2年4月> 医学博士	専 教授	専	<令和2年4月> 医学博士	専 教授	専	<令和2年4月> 医学博士	専 教授
	基礎セミナー BLS演習 血液検査学 I 血液検査学実習 I 血液検査学実習 II 遺伝子検査学実習 医療安全管理学 臨床検査学総合演習 I 臨床検査学総合演習 II 臨床検査学実習 卒業研究 I 卒業研究 II			基礎セミナー BLS演習 血液検査学 I 血液検査学実習 I 血液検査学実習 II 遺伝子検査学実習 医療安全管理学 臨床検査学総合演習 I 臨床検査学総合演習 II 臨床検査学実習 卒業研究 I 卒業研究 II 血液型、組織適合抗原検査学 (実習を含む) BLSプロバイダー演習			基礎セミナー BLS演習 血液検査学 I 血液検査学実習 I 血液検査学実習 II 遺伝子検査学実習 医療安全管理学 臨床検査学総合演習 I 臨床検査学総合演習 II 臨床検査学実習 卒業研究 I 卒業研究 II 血液型、組織適合抗原検査学 (実習を含む) BLSプロバイダー演習			基礎セミナー BLS演習 血液検査学 I 血液検査学実習 I 血液検査学実習 II 遺伝子検査学実習 医療安全管理学 臨床検査学総合演習 I 臨床検査学総合演習 II 臨床検査学実習 卒業研究 I 卒業研究 II 血液型、組織適合抗原検査学 (実習を含む) BLSプロバイダー演習	
専	<令和2年4月> 医学博士	専 教授	専	<令和2年4月> 医学博士	専 教授	専	<令和2年4月> 医学博士	専 教授	専	<令和2年4月> 医学博士	専 教授
	基礎セミナー 人体解剖学 人体組織学 病理学 医学概論 病態生理学 病理検査学実習 卒業研究 I 卒業研究 II			基礎セミナー 人体解剖学 人体組織学 病理学 医学概論 病態生理学 病理検査学実習 卒業研究 I 卒業研究 II			基礎セミナー 人体解剖学 人体組織学 病理学 医学概論 病態生理学 病理検査学実習 卒業研究 I 卒業研究 II			基礎セミナー 人体解剖学 人体組織学 病理学 医学概論 病態生理学 病理検査学実習 卒業研究 I 卒業研究 II	
専	<令和2年4月> 薬学博士	専 教授	専	<令和2年4月> 薬学博士	専 教授	専	<令和2年4月> 薬学博士	専 教授	専	<令和2年4月> 薬学博士	専 教授
	基礎セミナー 薬理学 チーム医療学※ 臨床生化学 臨床化学検査学 II 臨床化学検査学実習 I 臨床化学検査学実習 II 放射性同位元素検査学 卒業研究 I 卒業研究 II			基礎セミナー 薬理学 チーム医療学※ 臨床生化学 臨床化学検査学 II 臨床化学検査学実習 I 臨床化学検査学実習 II 放射性同位元素検査学 卒業研究 I 卒業研究 II			基礎セミナー 薬理学 チーム医療学※ 臨床生化学 臨床化学検査学 II 臨床化学検査学実習 I 臨床化学検査学実習 II 放射性同位元素検査学 卒業研究 I 卒業研究 II			基礎セミナー 薬理学 チーム医療学※ 臨床生化学 臨床化学検査学 II 臨床化学検査学実習 I 臨床化学検査学実習 II 放射性同位元素検査学 卒業研究 I 卒業研究 II	

専任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名
専	教授	<令和2年4月> 博士(医学)	専	教授	<令和2年4月> 博士(医学)	専	教授	<令和2年4月> 博士(医学)	専	教授	<令和2年4月> 博士(医学)
		基礎セミナー 医用工学概論 医用工学実習 血液検査学Ⅱ 血液検査学実習Ⅰ 血液検査学実習Ⅱ 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ			基礎セミナー 医用工学概論 医用工学実習 血液検査学Ⅱ 血液検査学実習Ⅰ 血液検査学実習Ⅱ 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ			基礎セミナー 医用工学概論 医用工学実習 血液検査学Ⅱ 血液検査学実習Ⅰ 血液検査学実習Ⅱ 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ			基礎セミナー 医用工学概論 医用工学実習 血液検査学Ⅱ 血液検査学実習Ⅰ 血液検査学実習Ⅱ 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ
専	教授	<令和2年4月> 医学博士	専	教授	<令和2年4月> 医学博士	専	教授	<令和2年4月> 医学博士	専	教授	<令和2年4月> 医学博士
		基礎セミナー チーム医療学※ 微生物学 病原微生物検査学Ⅰ 病原微生物検査学Ⅱ 病原微生物検査学実習 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ			基礎セミナー チーム医療学※ 微生物学 病原微生物検査学Ⅰ 病原微生物検査学Ⅱ 病原微生物検査学実習 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ			基礎セミナー チーム医療学※ 微生物学 病原微生物検査学Ⅰ 病原微生物検査学Ⅱ 病原微生物検査学実習 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ			基礎セミナー チーム医療学※ 微生物学 病原微生物検査学Ⅰ 病原微生物検査学Ⅱ 病原微生物検査学実習 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ
専	教授	<令和4年4月> 薬学博士	専	教授	<令和4年4月> 薬学博士	専	教授	<令和4年4月> 薬学博士	専	教授	<令和4年4月> 薬学博士
		基礎セミナー 公衆衛生学 公衆衛生学実習 医療統計学演習 卒業研究Ⅰ			基礎セミナー 公衆衛生学 公衆衛生学実習 医療統計学演習 卒業研究Ⅰ			基礎セミナー 公衆衛生学 公衆衛生学実習 医療統計学演習 卒業研究Ⅰ			基礎セミナー 公衆衛生学 公衆衛生学実習 医療統計学演習 卒業研究Ⅰ
兼任	教授	<令和2年4月> 薬学博士	兼任	教授	<令和2年4月> 薬学博士						
		公衆衛生学			公衆衛生学						
						専	准教授	<令和3年4月> 博士(医療技術学)	専	准教授	<令和3年4月> 博士(医療技術学)
								基礎セミナー 臨床生理検査学Ⅱ 臨床生理検査学Ⅲ 臨床生理検査学実習Ⅰ 臨床生理検査学実習Ⅱ 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ 臨床生理学Ⅰ 人体生理学			基礎セミナー 臨床生理検査学Ⅱ 臨床生理検査学Ⅲ 臨床生理検査学実習Ⅰ 臨床生理検査学実習Ⅱ 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ 臨床生理学Ⅰ 人体生理学
								<令和3年7月> 博士(医学博士)	専	准教授	<令和3年7月> 博士(医学博士)
								基礎セミナー 微生物学 チーム医療学 病原微生物検査学Ⅰ 病原微生物検査学Ⅱ 病原微生物検査学実習 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ			基礎セミナー 微生物学 チーム医療学 病原微生物検査学Ⅰ 病原微生物検査学Ⅱ 病原微生物検査学実習 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ
専	講師	<令和2年4月> 博士(医療技術学)	専	講師	<令和2年4月> 博士(医療技術学)	専	講師	<令和2年4月> 博士(医療技術学)	専	講師	<令和2年4月> 博士(医療技術学)
		基礎セミナー 病理組織検査学 病理細胞検査学 病理検査学実習 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ			基礎セミナー 病理組織検査学 病理細胞検査学 病理検査学実習 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ			基礎セミナー 病理組織検査学 病理細胞検査学 病理検査学実習 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ			基礎セミナー 病理組織検査学 病理細胞検査学 病理検査学実習 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ
専	講師	<令和2年4月> 博士(医学)	専	講師	<令和2年4月> 博士(医学)	専	講師	<令和2年4月> 博士(医学)	専	講師	<令和2年4月> 博士(医学)
		基礎セミナー 基礎生化学 臨床化学検査学Ⅰ 臨床化学検査学実習Ⅰ 臨床化学検査学実習Ⅱ 卒業研究Ⅰ			基礎セミナー 基礎生化学 臨床化学検査学Ⅰ 臨床化学検査学実習Ⅰ 臨床化学検査学実習Ⅱ 卒業研究Ⅰ			基礎セミナー 基礎生化学 臨床化学検査学Ⅰ 臨床化学検査学実習Ⅰ 臨床化学検査学実習Ⅱ 卒業研究Ⅰ			基礎セミナー 基礎生化学 臨床化学検査学Ⅰ 臨床化学検査学実習Ⅰ 臨床化学検査学実習Ⅱ 卒業研究Ⅰ
専	講師	<令和2年4月> 短期大学卒	専	講師	<令和2年4月> 短期大学卒	専	講師	<令和2年4月> 短期大学卒	専	講師	<令和2年4月> 短期大学卒
		基礎セミナー 超音波解剖学 臨床生理検査学実習Ⅰ 臨床生理検査学実習Ⅱ 臨床超音波検査学 超音波検査学特論(実習を含む) 臨床検査学総合演習Ⅰ 臨床検査学総合演習Ⅱ 臨床実習 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ			基礎セミナー 超音波解剖学 臨床生理検査学実習Ⅰ 臨床生理検査学実習Ⅱ 臨床超音波検査学 超音波検査学特論(実習を含む) 臨床検査学総合演習Ⅰ 臨床検査学総合演習Ⅱ 臨床実習 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ			基礎セミナー 超音波解剖学 臨床生理検査学実習Ⅰ 臨床生理検査学実習Ⅱ 臨床超音波検査学 超音波検査学特論(実習を含む) 臨床検査学総合演習Ⅰ 臨床検査学総合演習Ⅱ 臨床実習 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ			基礎セミナー 超音波解剖学 臨床生理検査学実習Ⅰ 臨床生理検査学実習Ⅱ 臨床超音波検査学 超音波検査学特論(実習を含む) 臨床検査学総合演習Ⅰ 臨床検査学総合演習Ⅱ 臨床実習 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ
						専	講師	<令和3年4月> 保険医学修士	専	講師	<令和3年4月> 保険医学修士
								基礎セミナー 医動物検査学 臨床検査総論実習Ⅰ 臨床検査学総合演習Ⅰ 臨床検査学総合演習Ⅱ 臨床実習 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ			基礎セミナー 医動物検査学 臨床検査総論実習Ⅰ 臨床検査学総合演習Ⅰ 臨床検査学総合演習Ⅱ 臨床実習 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名
専	助教	<令和3年4月> 学士(教養)		専	助教	<令和3年4月> 学士(教養)		専	助教	<令和3年4月> 学士(教養)		専	助教	<令和3年4月> 学士(教養)	
		基礎セミナー チーム医療学※ 免疫検査学Ⅰ 免疫検査学Ⅱ 免疫検査学実習 臨床検査総論実習 臨床検査学総合演習Ⅰ 臨床検査学総合演習Ⅱ 臨地実習				基礎セミナー チーム医療学※ 免疫検査学Ⅰ 免疫検査学Ⅱ 免疫検査学実習 臨床検査総論実習 臨床検査学総合演習Ⅰ 臨床検査学総合演習Ⅱ 臨地実習				基礎セミナー チーム医療学※ 免疫検査学Ⅰ 免疫検査学Ⅱ 免疫検査学実習 臨床検査総論実習 臨床検査学総合演習Ⅰ 臨床検査学総合演習Ⅱ 臨地実習 血液型、組織適合抗原検査学 (実習を含む)		専	講師	<令和5年4月> 博士(医学)	基礎セミナー 免疫検査学Ⅰ 免疫検査学Ⅱ 免疫検査学実習Ⅱ 臨床検査学実習Ⅱ 臨床検査学総合演習Ⅰ 臨床検査学総合演習Ⅱ
専	助教	<令和4年4月> 修士(医療技術)		専	助教	<令和4年4月> 修士(医療技術)		専	助教	<令和4年4月> 修士(医療技術)		専	助教	<令和4年4月> 修士(医療技術)	
		基礎セミナー 病原微生物検査学Ⅰ 病原微生物検査学Ⅱ 病原微生物検査学実習 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ				基礎セミナー 病原微生物検査学Ⅰ 病原微生物検査学Ⅱ 病原微生物検査学実習 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ				基礎セミナー 病原微生物検査学Ⅰ 病原微生物検査学Ⅱ 病原微生物検査学実習 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ					
兼任	助教	<令和3年4月> 修士(医療技術)		兼任	助教	<令和3年4月> 修士(医療技術)		兼任	助教	<令和3年4月> 修士(医療技術)		兼任	助教	<令和3年4月> 修士(医療技術)	
		病原微生物検査学Ⅰ 病原微生物検査学Ⅱ				病原微生物検査学Ⅰ 病原微生物検査学Ⅱ				病原微生物検査学Ⅰ 病原微生物検査学Ⅱ					
兼任	教授	<令和2年4月> 農学士		兼任	教授	<令和2年4月> 農学士		兼任	教授	<令和2年4月> 農学士		兼任	教授	<令和2年4月> 農学士	
		化学 生物学				化学 生物学				化学 生物学				化学 生物学	
兼任	講師	<令和2年4月> 文学士				<令和2年4月> 文学士				<令和2年4月> 文学士				<令和2年4月> 文学士	
		言語と表現				言語と表現				言語と表現				言語と表現	
兼任	教授	<令和2年4月> 博士(社会福祉学)		兼任	教授	<令和2年4月> 博士(社会福祉学)		兼任	教授	<令和2年4月> 博士(社会福祉学)		兼任	教授	<令和2年4月> 博士(社会福祉学)	
		日本国憲法 社会保障制度概論				日本国憲法 社会保障制度概論				日本国憲法 社会保障制度概論				日本国憲法 社会保障制度概論	
兼任	講師	<令和3年9月> 修士(文学・社会学)		兼任	講師	<令和3年9月> 修士(文学・社会学)		兼任	講師	<令和3年9月> 修士(文学・社会学)		兼任	講師	<令和3年9月> 修士(文学・社会学)	
		哲学				哲学				哲学				哲学	
兼任	教授	<令和2年4月> 体育学士		兼任	教授	<令和2年4月> 体育学士		兼任	教授	<令和2年4月> 体育学士		兼任	教授	<令和2年4月> 体育学士	
		健康とスポーツ スポーツ実技				健康とスポーツ スポーツ実技				健康とスポーツ スポーツ実技				健康とスポーツ スポーツ実技	
兼任	教授	<令和3年4月> 博士(医学)		兼任	教授	<令和3年4月> 博士(医学)		兼任	教授	<令和3年4月> 博士(医学)		兼任	教授	<令和3年4月> 博士(医学)	
		食品衛生学				食品衛生学				食品衛生学				食品衛生学	
兼任	准教授	<令和2年9月> 修士(教育学)		兼任	准教授	<令和2年9月> 修士(教育学)		兼任	准教授	<令和2年9月> 修士(教育学)		兼任	准教授	<令和2年9月> 修士(教育学)	
		情報科学				情報科学				情報科学				情報科学	
兼任	教授	<令和3年9月> 博士(人文)		兼任	教授	<令和3年9月> 博士(人文)		兼任	教授	<令和3年9月> 博士(人文)		兼任	教授	<令和3年9月> 博士(人文)	
		チーム医療学※				チーム医療学※				チーム医療学※				チーム医療学※	

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名
兼任	准教授	<令和2年9月> 修士(健康科学)	兼任	准教授	<令和2年9月> 修士(健康科学)				兼任	教授	<令和4年4月> 学士(栄養)	兼任	教授	<令和4年4月> 学士(栄養)
		食文化論			食文化論						チーム医療学※			チーム医療学※
兼任	教授	<令和3年9月> 修士(心理学)	兼任	教授	<令和3年9月> 修士(心理学)				兼任	講師	<令和4年9月> 専門士(栄養)	兼任	講師	<令和4年9月> 専門士(栄養)
		心理学 コミュニケーション論			心理学 コミュニケーション論						食文化論			食文化論
兼任	講師	<令和2年9月> 修士(理学)	兼任	講師	<令和2年9月> 修士(理学)				兼任	教授	<令和3年9月> 修士(心理学)	兼任	教授	<令和3年9月> 修士(心理学)
		物理学			物理学						心理学 コミュニケーション論			心理学 コミュニケーション論
兼任	講師	<令和2年9月> 工学博士	兼任	講師	<令和2年9月> 工学博士				兼任	講師	<令和4年9月> 修士(工学)	兼任	講師	<令和4年9月> 修士(工学)
		数学			数学						物理学			物理学
兼任	講師	<令和2年9月> 工学博士	兼任	講師	<令和2年9月> 工学博士				兼任	講師	<令和2年9月> 工学博士	兼任	講師	<令和2年9月> 工学博士
		数学			数学						数学			数学
兼任	講師	<令和2年4月> 博士(商学)	兼任	講師	<令和2年4月> 博士(商学)				兼任	講師	<令和2年4月> 博士(商学)	兼任	講師	<令和2年4月> 博士(商学)
		暮らしと経済			暮らしと経済						暮らしと経済			暮らしと経済
兼任	講師	<令和2年4月> 修士(文学)	兼任	講師	<令和2年4月> 修士(文学)									
		国際文化論			国際文化論									
兼任	講師	<令和2年9月> 高等学校卒	兼任	講師	<令和2年9月> 高等学校卒				兼任	講師	<令和4年9月> 短期大学(英文)	兼任	講師	<令和4年9月> 短期大学(英文)
		手話			手話						国際文化論			国際文化論
兼任	講師	<令和2年9月> 博士(法学)	兼任	講師	<令和2年9月> 博士(法学)				兼任	講師	<令和2年9月> 高等学校卒	兼任	講師	<令和2年9月> 高等学校卒
		生命倫理			生命倫理						手話			手話
兼任	講師	<令和2年4月> 学士(文学)	兼任	講師	<令和2年4月> 学士(文学)				兼任	講師	<令和2年9月> 博士(法学)	兼任	講師	<令和2年9月> 博士(法学)
		コミュニケーション英語Ⅰ コミュニケーション英語Ⅱ メディカル英語Ⅰ メディカル英語Ⅱ			コミュニケーション英語Ⅰ コミュニケーション英語Ⅱ メディカル英語Ⅰ メディカル英語Ⅱ						生命倫理			生命倫理
兼任	講師	<令和2年4月> 文学修士	兼任	講師	<令和2年4月> 文学修士				兼任	講師	<令和4年9月> 修士(法学)	兼任	講師	<令和4年9月> 修士(法学)
		ドイツ語Ⅰ ドイツ語Ⅱ			ドイツ語Ⅰ ドイツ語Ⅱ						コミュニケーション英語Ⅰ コミュニケーション英語Ⅱ メディカル英語Ⅰ メディカル英語Ⅱ			コミュニケーション英語Ⅰ コミュニケーション英語Ⅱ メディカル英語Ⅰ メディカル英語Ⅱ
兼任	講師	<令和2年9月> 修士(学術)	兼任	講師	<令和2年9月> 修士(学術)				兼任	講師	<令和2年4月> 学士(文学)	兼任	講師	<令和2年4月> 学士(文学)
		中国語Ⅰ 中国語Ⅱ			中国語Ⅰ 中国語Ⅱ						ドイツ語Ⅰ ドイツ語Ⅱ			ドイツ語Ⅰ ドイツ語Ⅱ
兼任	講師	<令和3年4月> 博士(言語学)	兼任	講師	<令和3年4月> 博士(言語学)				兼任	講師	<令和2年9月> 修士(学術)	兼任	講師	<令和2年9月> 修士(学術)
		フランス語Ⅰ フランス語Ⅱ			フランス語Ⅰ フランス語Ⅱ						中国語Ⅰ 中国語Ⅱ			中国語Ⅰ 中国語Ⅱ
兼任	講師	<令和3年4月> 博士(言語学)	兼任	講師	<令和3年4月> 博士(言語学)				兼任	講師	<令和3年4月> 博士(言語学)	兼任	講師	<令和3年4月> 博士(言語学)
		フランス語Ⅰ フランス語Ⅱ			フランス語Ⅰ フランス語Ⅱ						フランス語Ⅰ フランス語Ⅱ			フランス語Ⅰ フランス語Ⅱ

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名
兼任	講師	<令和2年9月> 博士(医歯技術学)									
		臨床生理検査学Ⅰ 臨床生理検査学実習Ⅰ 臨床生理検査学実習Ⅱ									
			兼任	講師	<令和2年9月> 博士(医学)				兼任	講師	<令和2年9月> 博士(医学)
					臨床生理検査学Ⅰ 臨床生理検査学実習Ⅰ 臨床生理検査学実習Ⅱ						臨床生理検査学Ⅰ 臨床生理検査学実習Ⅰ 臨床生理検査学実習Ⅱ

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を入力してください。(満年齢については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第3号(その2の1)に準じて作成してください。
 - ・ 「認可時又は届出時」には、設置認可時又は届出時の教員全て(兼任、兼任教員を含む。)を黒字で記入してください。
 - ・ その上で、認可時又は届出時から変更となっている箇所は赤字としてください。
 - ・ 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る届出書類作成の手引き」の「教員名簿」を確認してください。
 - ・ 年齢は、それぞれの年度の5月1日時点の満年齢を記入してください。
 - ・ 専任(専門職大学等は専、実専、実(研)、実(み)、兼任、兼任の順に記入してください。
 - ・ 不要な年度(平成30年度開設であれば平成29年度)の教は適宜削除し、詰めてください。

(1) 一②担当教員表に関する変更内容

【令和2年度】

1. A兼任講師（言語と表現/前期）が体調不良のため、言語と表現/前期はB兼任講師に変更。

【令和3年度】

1. 設置計画に従って2名の教員を採用する。
①准教授 C（2年7月教員審査済）
②講師 D（2年7月教員審査済）
2. EE非常勤講師が都合により辞退。令和2年9月よりFF非常勤講師がその科目を受け持つ。（令和2年度、履行状況報告後の変更のため本年度報告）

【令和4年度】

1. 設置計画に従って3名の教員を採用する。
①教授 E（31年4月～令和5年5月教員審査済）…4年4月より専任教員として採用
②教授 F（31年4月～令和5年5月教員審査済）…4年4月より専任教員として採用
③助教 G（31年4月～令和5年5月教員審査済）…4年4月より専任教員として採用
2. その他に1名の教員を採用する。
①准教授 H（令和3年5月教員審査済）
3. 科目追加、及び指定規則改定にともなう科目名称等の変更
①I…病態学Ⅰ（3年9月教員審査済）
②J…検査型、組織適合抗原検査学（実習を含む）、病態学Ⅱ（3年9月教員審査済）
③K…国際保健医療学Ⅰ、国際保健医療学Ⅱ（3年9月教員審査済）
④L…臨床検査総論Ⅰ、臨床検査総論Ⅱ（3年9月教員審査済）
⑤M…検査型、組織適合抗原検査学（実習を含む）、BSLプロバイダー演習（3年9月教員審査済）
⑥N…遺伝子検査学実習、臨地実習（3年5月教員審査済）
⑦O…臨床生理検査学Ⅰ、人体生理学（3年5月教員審査済）
⑧D…医用工学実習（3年5月教員審査済）
⑨0…検査型、組織適合抗原検査学（実習を含む）（3年9月教員審査済）
4. 非常勤講師の変更
①P ⇒ A ②Q ⇒ R ③S ⇒ R ④T ⇒ U ⑤S ⇒ V
⑥W ⇒ X ⑦Y ⇒ Z ⑧AA ⇒ BB ⑨CC ⇒ DD

【令和5年度】

1. 設置計画に従って1名の教員を採用する
①講師 GG（令和5年9月教員審査済）…5年4月より専任教員として採用
2. 非常勤講師授業の変更
①FF（臨床生理検査学Ⅰ）…C准教授が担当
②FF（臨床生理検査学実習Ⅰ、臨床生理検査学実習Ⅱ）…C准教授、HH講師が担当

- (注) ・ 変更内容を箇条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- ・ **認可で設置された学部等の専任教員を変更する場合は**、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査（AC教員審査）を受けてください。**AC教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。**
 - ・ AC教員審査の結果、「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」と記入してください。
 - ・ なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「教員審査省略」と記入してください。
 - ・ 不要な年度（令和4年度開設であれば令和3年度以前）の表は適宜削除してください。

(2) 専任教員数等

(注) ・ 計画の区分が「学部等連係課程実施基本組織(学科連係課程実施学科)の設置」の場合、大学設置基準第四十二条の三の二(短期大学設置基準第三条の二)に基づく「連係協力学部等(連係協力学科)」の専任教員数について、「(2)-① 設置基準上の必要専任教員数」及び「(2)-② 専任教員等数【大学】」を連係協力学部等(連係協力学科)ごとに別ファイルで作成してください。

(2)-① 設置基準上の必要専任教員数

完成年度時における 設置基準上の必要専 任教員数	うち、完成年度時に おける設置基準上の 必要教授数
	7
14	
名	名

(注) ・ 大学設置基準別表第一、短期大学設置基準別表第一イ、高等専門学校設置基準第六条第二項及び第三項又は第四項により算出される専任教員数を記入してください。
 ・ 高等専門学校の場合、「うち、完成年度時における設置基準上の必要教授数」欄は「うち、完成年度時における設置基準上の必要教授・准教授数として、高等専門学校設置基準第八条により算出される必要教授・准教授数を記入してください。

(2)-② 専任教員等数【大学・高専】

設置時の計画						現在(報告時)の状況					
教授	准教授	講師	助教	計(A)	助手(A')	教授	准教授	講師	助教	計(B)	助手(B')
11	0	3	2	16	4	11	2	5	2	20	3
(11)	(0)	(3)	(2)	(16)	(4)						
現在(報告時)の完成年度時の状況						現在(報告時)の完成年度時の計画					
教授	准教授	講師	助教	計(C)	助手(C')	教授	准教授	講師	助教	計(D)	助手(D')
11	2	5	2	20	3	11	2	5	2	20	4
[0]	[0]	[0]	[0]	[4]	[△1]	[0]	[0]	[0]	[0]	[4]	[0]

(注) ・ 「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、() 内に開設時の状況を記入してください。
 ・ 「現在(報告時)の状況」には、報告年度の5月1日の教員数(実人数)を記入してください。
 ・ 「現在(報告時)の完成年度時の状況」には、認可で設置された学部等の場合は、「現在(報告時)の状況」に記入した数字に、教員審査を受審済みであり、完成年度までに就任する教員数を加えた数を、届出で設置された学部等の場合は、「現在(報告時)の状況」に記入した数字に、完成年度までに就任することが決定している教員数を加えた数を記入するとともに、 [] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。(記入例: 1名減の場合: △1)
 ・ 「現在(報告時)の完成年度時の計画」には、予定されている完成年度時の人数を記入するとともに、[] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。(記入例: 1名減の場合: △1)

(2)-③ 年齢構成

年齢構成		
定年規定の定める 定年年齢(歳)	報告時(上記(B))の教員の うち、定年を延長 して採用している 教員数	完成年度時(上記(C))の教員 うち、定年を延長し て採用する教員数
63	11	9
歳	名	名

(注) ・ 「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢(特例等による定年年齢ではありません)、及び、報告年度の5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数及び完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。
 ・ なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二重書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。

(2)-④ 設置時の計画に対する教員充足率

$$\frac{\text{現在(報告時)の完成年度時の状況(C)}}{\text{設置時の計画(A)}} = \frac{20}{16} = \boxed{125} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2)-⑤ 現在(報告時)の状況における定年を延長している教員構成率

$$\frac{\text{報告時の教員のうち、定年を延長して採用している教員数}}{\text{現在(報告時)の状況(B)}} = \frac{11}{20} = \boxed{55} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2)-⑥ 設置時の計画に対する助手充足率

$$\frac{\text{現在(報告時)の完成年度時の状況(C')}}{\text{設置時の計画(A')}} = \frac{3}{4} = \boxed{75} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) 専任教員辞任等の理由

(3) - ① 専任教員の就任辞退（未就任）の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	就任辞退（未就任）の理由			
1		該当なし								
2										
合計 (D)				後任補充状況の集計 (E)						
就任を辞退した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)		
0	人	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目

- (注) ・ 認可時又は届出時以降、就任を辞退した**全ての専任教員**の就任辞退の理由を具体的に記入してください。
 ・ 「就任辞退（未就任）」とは、認可又は届出時に就任予定としながら、実際には就任しなかった教員のことです。就任した後に辞任した教員は、以下「(3) - ②専任教員辞任の理由及び後任補充状況」に記入してください。
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに就任を辞退した場合、**赤字**にて記入するとともに、「就任辞退（未就任）の理由」に就任辞退の理由等及び（ ）書きで報告年度を記入してください。
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- | |
|---|
| <ul style="list-style-type: none"> ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」 ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」 |
|---|

(3) - ② 専任教員辞任の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由			
1		該当なし								
2										
合計 (F)				後任補充状況の集計 (G)						
辞任した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)		
0	人	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目

- (注) ・ 一度就任した後に、**定年による退職以外の理由で辞任した全ての専任教員**について、記入してください。
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、**赤字**にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等及び（ ）書きで報告年度を記入してください。
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- | |
|---|
| <ul style="list-style-type: none"> ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」 ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」 |
|---|

(3) - ③ 上記 (3) - ① ・ (3) - ② の合計

合計 (D) + (F)				後任補充状況の集計 (E) + (G)						
辞任等した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)		
0	人	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目

(3) - ④ 設置時の計画に対する教員辞任率

$$\frac{(3) - ③ \text{合計}(D) + (F)}{(2) - ② \text{設置時の計画}(A)} = \frac{0}{16} = \boxed{0} \%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) - ⑤ 令和4年度報告書から、新たに辞任等した専任教員等の状況

人

- (注) ・ (3) - ①、(3) - ②で**赤字**で記載した専任教員数の合計数を記載してください。
 ・ 令和5年度開設の学科等の場合、(D) + (F) と同数を記載してください。

(3) 一⑥ 定年により退職した専任教員に対する後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由	
1		該当なし					
2							
合計			後任補充状況の集計				
辞任した教員数			担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)	②の合計数 (b)	③の合計数 (c)
0	人	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目
		計	0	科目	計	0	科目

- (注) ・ **定年により退職した全ての専任教員について**、記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等及び() 書きで報告年度を記入してください。
 - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

該当なし

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

該当なし

- (注) ・ 上記(3)の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

6 附帯事項等に対する履行状況等

区 分	附 帯 事 項 等	履 行 状 況	今後の の実施計画
設置計画履行状況 認 可 時 (令和元年)	「基礎セミナー」のシラバスにおける本科目全体の到達目標について、授業の流れを示すのではなく、本科目の履修を通じて学生が身に付けるべき具体的な能力等を到達目標として示すこと。	【認可】 遵守事項 初年度は新型コロナにより、教員は在宅勤務で自宅にいる学生にWEB 講義を行うことになった。基礎セミナーは教員1人に6人程の少人数で、双方向性のセミナーとなった。現在の問題を見つけ、調査、考察したことを発表、討論することで、未知の問題解決能力、創造性を身につけさせる。	履行中 少人数のグループに分け、担当教員の得意分野で、現在の問題点を見つけ、その調査、考察を教員やグループ内で発表し、討論することで、解決策を見出す。これらを通し、探究心、創造性を伸ばし、臨床検査技師としての専門的知識実技能力をつけるための次年度以降の準備を整える。
設置計画履行状況 認 可 時 (令和元年)	完成年度前に、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編制の将来構想について着実に実施すること。	【認可】 遵守事項 教員の年齢構成が比較的高いことから、学部内で完成年度までに教員審査に通過する優秀な若手教員を公募、あるいは関連組織から採用することを協議し、決定した。また、若手の助手を次年度より採用し、教育、研究の訓練を経験豊富な教授が行うことを確認した。	履行中 若手の専任教員を開設2年目に検査総合管理学1名、生理機能検査学1名、3年目に生体防御検査学1名、4年目に形態検査学1名を文部科学省の教員審査にかけ採用する計画である。また、助手として実習を補助しながら、教授に研究指導を受ける若手を開設2年目より4名採用する計画であり、教育の質の継続を図る。
設置計画履行状況 調 査 時 (令和2年)	定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編制の将来構想を策定し、着実に実行すること。	【AC】 指摘事項 (改善) 教員審査に通過した若手の専任教員を令和2年4月に検査総合管理学1名、生理機能検査学1名採用した。また、助手として4月に1名採用した。9月に更に1名採用内定した。このことより教員構成の若返りが進んだ。	履行中 若手の専任教員を開設3年目、4年目に文部科学省の教員審査にかけそれぞれ1名採用する計画である。また、実習補助をしながら将来の教育研究を担う若手の助手を2名採用する計画である。これにより教育、研究の質を確保する。
設置計画履行状況 調 査 時 (令和3年)	定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編制の将来構想を策定し、着実に実行すること。	【AC】 指摘事項 (改善) 教員審査に通過した若手の専任教員を令和3年に1名、令和4年4月には若手1名を含む専任教員3名を採用した。助手は令和4年4月に1名が名古屋大学助教に異動したため、新たに若手1名を含む2名を採用し、教員構成の若返りが進んだ。	履行中 若手の専任教員を開設4年目に文部科学省の教員審査にかけ1名採用する計画である。実習補助をしながら将来の教育研究を担う若手助手を1名採用する計画である。これにより教育、研究の質を確保する。
設置計画履行状況 調 査 結 果 (令和4度)	定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編制の将来構想を策定し、着実に実行すること。	【AC】 指摘事項 (改善) 教員審査に通過した若手の専任教員を令和3年に1名、令和4年4月には若手1名を含む専任教員3名を採用した。助手は令和4年4月に1名が名古屋大学助教に異動したため、新たに若手1名を含む2名を採用し、教員構成の若返りが進んだ(4)。新たに教員1名採用し、完成年度前に予定の4名に達した(5)。	履行中 令和6年3月末に定年延長している教員のうち4名が退職の予定であり令和6年4月での定年延長している教員の構成比率は44%と改善が図られる。その後の将来計画として令和8年4月を目途に定年延長している教員の構成比率が30%を下回るよう採用計画を設定した。引き続き教育、研究の質の継続を図る。

(注) ・ 「認可時」には、認可時または届出時に付された附帯事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る附帯事項を除く。以下同様。）と、それに対する履行状況等について、具体的に記入してください。

・ 認可時または届出時に付された附帯事項に対する履行状況等の記載に当たっては、以下のとおりに記載してください。

【令和4年度報告書から記載内容に変更がある場合】

令和4年度報告書の記載内容を転記し文末に「(4)」と記載した上で、変更後の「履行状況」及び「今後の実施計画」を記載し文末に「(5)」と記載してください。

【令和4年度報告書から記載内容に変更がない場合】

令和4年度報告書の記載内容を転記し文末に「(4) (5)」と記載してください。

【令和5年度から新たに調査対象となった学科等又は令和4年度設置計画履行状況調査で付された指摘の場合】

「履行状況」及び「今後の実施計画」を記載し文末に「(5)」と記載してください。

・ 「設置計画履行状況調査結果」には、当該年度の調査の結果、当該大学に付された指摘を全て記入するとともに、付された指摘に対する履行状況等について、具体的かつ明確に記入してください。

その履行状況等の参考や根拠となる資料があれば、添付してください。

・ 「履行状況」では、履行中であれば「履行中」、履行が完了していれば「履行済」を選択してください。

・ 該当がない場合には、「附帯事項等」の部分に「該当なし」と記入してください。

・ 「設置計画履行状況調査結果」には、当該調査の実施年度の年を記入してください。

7 その他全般的事項

<医療科学部 臨床検査学科>

(1) 設置計画変更事項等

設置時の計画	変更内容・状況、今後の見通しなど
<p>① 修了要件単位数等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教養科目基礎分野 必修17単位 選択7単位 ・専門基礎科目 必修26単位 選択1単位 ・専門科目 必修72単位 選択1単位 <p>修了要件単位数 必修115単位 選択9単位 計124単位</p> <ul style="list-style-type: none"> ・専門分野 輸血、移植検査学として1単位 ・専門分野 医療安全管理学 1単位 ・専門分野 生理学的検査 9単位 ・専門分野 臨地実習 8単位 <p>② 施設・設備</p> <p>図書 毎年、基礎分野100冊、専門分野100冊を整備する。</p>	<p>① 修了要件単位数等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・基礎分野 必修16単位 選択7単位 ・専門基礎分野 必修22単位 選択1単位 ・専門分野 必修83単位 選択1単位 <p>修了要件単位数 必修121単位 選択9単位 計130単位</p> <p>平成4年4月からの指定規則変更によるカリキュラム変更に伴う改定を数々行った。</p> <p>ここでは主となるものを列挙する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・専門分野 輸血、移植検査学として4単位 ・専門分野 医療安全管理学 2単位 ・専門分野 生理学的検査 11単位 ・専門分野 臨地実習 12単位 <p>② 学生の修学環境を改善するため、図書は和書172冊、洋書7冊、ビデオ教材5点新たに購入した。</p>

(注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。

(2) 教員の資質の維持向上の方策（FD・SD活動含む）

<p>① 実施体制</p> <p>a 委員会の設置状況</p> <p>全学のFD委員会が設置されている。（委員長は健康栄養の小田教授）</p> <p>b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む）</p> <p>FD委員会が令和4年度は5回（5/18, 10/19, 11/16, 1/21）に開催され、医療科学部から涌澤教授、橋本講師が参加した。</p> <p>c 委員会の審議事項等</p> <p>相互研究型授業参観、ティーチング・ポートフォリオ、学生による授業アンケート、外部講師によるFD研修会について話し合われた。</p> <p>② 実施状況</p> <p>a 実施内容</p> <p>1) 教員相互の授業参観</p> <p>担当教員がメールで他の教員に講義を連絡し、講義を視聴した教員が講義について意見を記載し、今後の授業改善について話し合う。</p> <p>2) ティーチング・ポートフォリオ</p> <p>医療科学部の教員は各自令和4年度のティーチング・ポートフォリオを作成する。</p>
--

- 3) 学生による授業アンケート
各教員は前期、後期全ての講義に関して学生に授業アンケート調査票を配り、学生代表が集めて教務課で集計して各教員に返却した。
- 4) 外部講師によるFD研修会
藤田医科大学 湯澤由紀夫先生講演 令和4年8月3日(水) 「with コロナにおける大学教育」

b 実施方法

- 1) 教員相互の授業参観
担当教員がメールで他の教員に講義を連絡し、講義を視聴した教員が講義に関する感想を話し合った。
- 2) ティーチング・ポートフォリオ
教員は各自、令和4年度のティーチング・ポートフォリオを作成し、期末に学部長と面談した。
- 3) 学生による授業アンケート
学生にアンケート調査を行い、それに対する回答を各教員が記載し今後に役立てた。
- 4) 外部講師によるFD研修会
令和4年8月3日(水) 修文大学7号館 大会議室で行った。

c 開催状況（教員の参加状況含む）

- 1) 教員相互の授業参観
授業参観実施回数4回、参観があった科目数4科目、参観した教員数4名、参観後意見交換を行った。全員が今後の講義に役立ったと回答している。
- 2) ティーチング・ポートフォリオ
教員全員、令和4年度分を期末に学部長に提出して改善点を話し合った。
- 3) 学生による授業アンケート
学生の要望に対して、教授会で対策を話し合い学生に返答を返した。
- 4) 外部講師によるFD研修会
医療科学部の教員は7号館大会議室で講演を聴き質疑応答をした。

d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

- 1) 教員相互の授業参観
教員相互の授業参観によって討議後授業改善に役立てるとともに、優れた講義は取り入れるようにした。
- 2) ティーチング・ポートフォリオ
年度末に全ての科目の内容を学部長と話し合い次年度からの講義に役立てた。
- 3) 学生による授業アンケート
各教員にアンケート結果を知らせると共に、学部で最も優秀な教員はベストティーチャー賞を与えることで授業改善へのモチベーションを高めている。
- 4) 外部講師によるFD研修会
藤田医科大学での新型コロナ対応を学ぶことで修文大学でのより良い講義、実習形式を考える機会となった。

③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況

a 実施の有無及び実施時期

前期は回答者数合計 のべ2,199名、点数は5段階評価で5-4.27であった。
後期は回答者数合計 のべ1,371名、点数は5段階評価で4.58-4.0であった。

b 教員や学生への公開状況、方法等

FD委員会から各教員に結果を印刷して配布した。その結果に対して各教員は今後の改善点を記載し、図書館に保管した。

(注)・「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。
「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。(記入例参照)

(3) 教育課程連携協議会に関する事項

※専門職大学、専門職短期大学、専門職学科、専門職大学院以外は「該当なし」と記入ください。

① 体制

a 委員会の設置状況

「該当なし」

b 委員会の開催状況（回数や開催日など）

「該当なし」

c 委員会の審議事項等

「該当なし」

d その他

「該当なし」

② 審議状況

a 審議した内容

「該当なし」

b 教育課程連携協議会が審議した内容を踏まえた大学での教育課程への見直し状況

「該当なし」

c 教育課程連携協議会が審議した内容を踏まえた大学での教育課程への反映状況

「該当なし」

(4) 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

建学の精神である「国家・社会に貢献できる人材の育成」のもと、超高齢化社会を迎える我が国において、診療に不可欠な臨床検査を担う臨床検査技師の養成に対する社会の要請と期待に応えることを目指し、本学に臨床検査技師養成学科を設立した。3年目となる令和4年度には新型コロナ対策も軌道に乗り、3年生は臨地実習に初めて行くことになり、愛知県を中心に名古屋大学病院をはじめ地域の中核となる病院に派遣した。このための準備に多くの時間を費やしたが、臨地実習は学生にとってこれまでの学習の成果を踏まえ、実際の検査に触れることで大きな勉強になった。本学では「国家・社会に貢献できる人材の育成」のため、1年次からアドバイザー制度を採用し、きめ細かい指導を行ってきた。3年生は専門知識をはじめ、コミュニケーション能力、問題解決能力共に1年次と比べ進歩してきている。

② 自己点検・評価報告書

a 公表（予定）時期

・令和8年11月1日 公表

b 公表方法

- ・自己点検・評価報告書を刊行し、教職員（約120名）に各1冊を配布
- ・大学ホームページ上に公開予定（令和8年11月1日を予定）

③ 認証評価を受ける計画

・令和8年に評価機関（公益財団法人 日本高等教育評価機構）の評価を受ける予定

(注) ・ 設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

(5) 情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書（令和5年度）

a 公表予定の有無 [有 ・ 無]

《 aで「有」の場合》

b 公表（予定）時期 [調査結果公表後1ヶ月以内 ・ 公表後2～3ヶ月以内 ・ 公表後3ヶ月以降]

c 公表方法 [ウェブサイトへの掲載 ・ その他 ()]

《 aで公表「無」の場合》

d 公表しない理由 []

※設置計画が各大学等が社会に対して着実に実現していく構想を表したものであることに鑑み、設置計画履行状況報告書については、各大学等のウェブサイト公表するなど、積極的な情報提供をお願いします。